



広報

2019

4

ななか

NO.171

発行日 平成31年4月11日
 発行 那珂市
 編集 シティプロモーション推進室
 〒311-0192
 茨城県那珂市福田 1819-5
 E-mail city-p@city.naka.lg.jp
 URL http://www.city.naka.lg.jp



目次 Contents

平成31年度市長施政方針	…	2
平成31年度那珂市予算	…	8
平成31年第1回那珂市議会定例会	…	12
まちづくり出前講座をご利用ください!	…	16
まちの話題	…	28
Information	…	30
さわやかさん ほか	…	34



平成31年度 市長施政方針

3月1日から、平成31年第1回那珂市議会定例会が開催され、先崎市長が平成31年度の施政方針を表明しました。以下、施政方針の内容（抜粋）についてお知らせします。

1 みんなで進める 住みよいまちづくり

◆協働のまちづくりの推進

自治会、地区まちづくり委員会および市民活動団体を取り組んでいる活動を引き続き支援します。また、まちづくりリーダー養成講座や協働のまちづくり推進フォーラムを開催するなど、啓発の機会を提供します。

◆シティブロモーションの推進

平成31年度から秘書広聴課に「シティブロモーション推進室」を設置し「那珂市シティブロモーション行動計画」に掲げた各種施策を全庁的に取り組みます。さらに市民や市外の人で組織する「いい那珂暮らし応援団」の活動をさらに充実させていくとともに、SNSによる情報発信

力を強化し、本市の知名度アップと活力あるまちづくりを推進します。

また、那珂市の暮らしを体験できる「お試し居住」など移住体験の実施や、結婚を希望する男女の出会いの場を提供する「ふれあいパーティー開催支援事業」、自分の将来について考える「ライフデザイン形成支援事業」を引き続き実施します。

さらには、空き家の売却や賃貸を希望する所有者からの申込みにより空き家情報を登録し、利用希望者に情報を提供する「空き家バンク」を運用するとともに、空き家などの改修や家財処分経費の一部を助成し、定住の促進を図ります。

◆那珂ふるさと大使

那珂ふるさと大使の活動を支援するため、引き続き各種イベントや市政の情報を積極的に提供するとともに、情報交換会を開催し、市政への意見や助言を聴取します。併せて、新たな那珂ふるさと大使の就任に努めます。

◆広報事業

広報紙やホームページを通して分かりやすい市政情報の提供に努めるとともに、SNSや情報メール一斉配信サービスを活用して積極的・効果的な情報発信を行います。

◆広聴事業

市民相談窓口をはじめ、市民ボックス、電子メール、市ホームページでの問い合わせなど、広く市民の意見・要望の聴取に努めます。また、市の計画などの立案については、パブリックコメントを実施し、市民の意見を市政運営に反映していきます。

◆人権尊重の啓発

一人ひとりの人権が尊重される社会をつくるため、人権問題についての啓発・教育の推進に取り組みます。

◆平和事業

原爆や戦争に関するパネル展などを開催し、戦争の悲惨さや平和の尊さを、若い世代に語り継いでいきます。

◆男女共同参画の推進

「第2次那珂市男女共同参画プラン前期実施計画」に基づき、女性活動団体などと連携を図りながら、さまざまな取り組みを総合的かつ計画的に実施します。

2 安全で快適に暮らせる まちづくり

◆防災対策

自主防災組織が結成されている自治会に対し、定期的な防災訓練の実施を呼びかけ、組織の運営強化を推進し、未結成の自治会に対しては、結成の促進を図ります。さらに、防災士の資格取得および活動を支援します。

また「那珂市地域防災計画」に基づき、災害に強いまちづくりを推進するため、非常用食糧の備蓄を進めるとともに、防災行政無線のデジタル化により、的確な情報を確実に住民に伝達し、災害時における市民の安全確保に努めます。

◆木造住宅の耐震化

旧耐震基準で建築された住宅（昭和56年5月31日以前着手の木造住宅）を対象に、耐震診断および耐震改修工事に要する費用の補助を行い、耐震化の促進を図ります。

◆原子力の防災対策

「那珂市地域防災計画（原子力災害対策編）」に基づき、防災体制の整備・充実に努めるとともに、広域避難計画の策定に取り組みます。

◆救急業務

救急時の出動態勢を確保するとともに、救急車の適正な利用について周知徹底を図るほか、救急救命講習会などを開催し、応急手当ての技術およびその重要性の普及啓発に努めます。

◆火災予防

火災現場から逃げ遅れるかたが発生しないよう、住宅用火災警報器の設置を促進します。また、事業所においては、火災の未然防止を図るため、特定防火対象物における消防用設備などの設置、消防訓練の実施や避難経路の維持管理などの指導の強化および防火管理者の育成指導を行います。

◆消防団

地域防災の要として団員一人ひとりの知識と技術を向上し、地域における消防活動の充実に図り、火災時の初期消火・地震・台風など、自然災害時の警戒出場などに備え、防災を呼びかける地域巡回を強化します。

◆防犯対策

防犯灯の設置補助など、地域の安全確保に努めます。また、犯罪のない安全・安心なまちづくりへの取り組みとして、警察や防犯協会などと連携した防犯パトロールの充実に図り、地域と一体となった防犯活動を進めます。

◆消費者行政

情報化や高齢化の進展により消費者を取り巻く環境が大きく変化し、消費者トラブルも悪質かつ巧妙化しており、これらの消費者問題に適切に対応するため、消費生活センターにおける相談・あつせん・情報提供を行います。また、広報紙やホームページなどで消費者の意識啓発に努め、被害の未然防止を図ります。

◆交通安全対策

警察などの関係機関と連携して、季節ごとに交通事故防止運動を展開し、高齢者や子どもの事故、自転車事故などの未然防止に努めます。また、飲酒運転や夜間の交通事故防止などの広報啓発活動を実施し、交通マナーの向上を図るとともに、高齢者や児童・生徒に重点をおいた交通安全教育を実施します。

◆環境政策

地球温暖化の抑制と低炭素社会づくり、循環型のまちをめざした廃棄物の抑制とリサイクルの推進を図るため、広報紙やホームページを通して啓発を行うとともに、市民や事業者の主体的・自主的な取り組みと連携して地球にやさしい生活環境の保全に努めます。

◆空き家対策

「空き家等の適正管理に関する条例」に基づき、所有者に対し適切に維持管理をするよう働きかけるとともに、空き家等対策協議会で協議し、空き家などの適正管理を推進するための「那珂市空き家等対策計画」を策定します。

◆橋りよの維持管理

新たに策定する「橋りよ長寿命化修繕計画」に基づき、本格的な維持修繕に着手し、適正な管理を実施します。

◆排水路整備事業

基幹となる両宮排水路整備が完了したことから、さらに細部にわたる排水路の整備を実施し、大雨などによる冠水被害を防止し、住環境の向上に努めます。

◆都市計画道路

菅谷・市毛線については、都市計画道路上宿・大木内線交差点までの供用開始に向けて、引き続き整備を進めます。

◆地域公共交通

高齢者や障がい者などの日常生活に不便を来している市民の交通手段を確保するため、ひまわりタクシーおよびひまわりバスの運行を引き続

ぎ実施します。特に、ひまわりタクシーについては、平成31年度から、増便や土曜日の運行、さらには水戸市域への乗り入れなど、サービスの拡充を図ります。

また、高齢者の交通事故防止のため、運転免許返納者に対してひまわりタクシーおよびひまわりバスの共通利用割引券を交付し、引き続き移動手段の確保を図ります。

◆地籍調査事業

南酒出(1)地区の登記完了に向けて調査を実施します。

◆市街地の整備

下菅谷地区まちづくり事業における街区道路などの整備を地区まちづくり協議会と協議の上、進めます。

◆木崎浄水場更新工事

門部取水場更新工事および木崎浄水場系送水管、芳野配水場系送水管布設工事を行い、平成34年度の完成に向けて計画的に実施していきます。

◆公共下水道事業

第1次整備優先地区の額田、後台、戸多、中里地区の污水管布設工事を進めます。

◆農業集落排水整備事業

平成32年度の供用開始に向けて、酒出地区の污水管布設工事を計画的に進めます。

◆合併処理浄化槽の設置

下水道の認可区域以外の区域において、引き続き助成を行います。

3 やさしきにあふれ生き がいの持てるまちづくり

◆子育て支援

子育て世帯を対象に実施したニーズ調査の結果を基に、平成32～36年度の5年間を計画期間とする「第2次那珂市子ども・子育て支援計画」の策定に取り組みます。

また、地域子育て支援センターの事業の充実とファミリーサポートセンターの利用促進を図るなど、安心して子どもを育てられるよう、社会全体で子育てを支援していく環境づくりに努めます。

さらに、こども発達相談センター「すまいる」では、子どもの発達に不安や悩みを抱える保護者を支援するため、相談・支援事業を充実させるとともに、関係機関との連携を図ります。

また、家庭児童相談室では、児童虐待への対応やひとり親家庭の相談体制の充実と自立支援のため、引き続き関係機関との連携を図ります。

◆母子保健

乳児全戸訪問や妊婦および乳幼児の健康相談・健康診査により、健全な成長を支える支援と育児不安の解消に努めるほか、妊婦健康診査の助成に加えて、産婦健康診査や産後ケアの費用助成を行い、産後早期からの支援強化を図り、安心して出産・子育てできる体制を進めます。

また、定期予防接種の接種勧奨を行うとともに、新たに「妊娠を希望するかたなどへの風しんワクチン」や「ロタウイルスワクチン」の費用助成を開始し、任意予防接種の充実を図り、感染症予防と重症化の防止、感染症のまん延防止に努めます。

◆不妊治療費

男性不妊治療も含めて助成対象とし、県補助金への上乗せを継続して経済的負担の軽減を図り、子どもを望む夫婦への環境づくりに取り組みます。

◆高齢者福祉

「那珂市高齢者保健福祉計画」に基づき、介護のみならず、医療や介護予防、生活支援や住まいなどの支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの充実に向け取り組めます。

また、平成30年4月から活動を開始した認知症初期集中支援チームを中心に、高齢者が安心して地域で暮

らしていただけるよう認知症対策を進めるとともに、在宅医療・介護連携の推進、虐待防止や成年後見制度などの権利擁護活動に取り組めます。

さらに、平成31年度には、市内3圏域ごとに新たに第2層協議体を設置し、市社会福祉協議会や地域包括支援センターなどの関係機関と緊密に連携を図り、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう支援します。

◆障がい者福祉

「那珂市障がい者プラン」に基づき、障がいの有無にかかわらず地域のだれもがかけがえのない個人として尊重され、自立と自己決定により社会に参画しながら、地域で安心して暮らしていただけるよう、適切な福祉サービスなどの提供に努めます。

◆地域福祉

新たに策定する「第3次那珂市地域福祉計画」に基づき、地域共生社会の実現のため、地域住民や社会福祉事業者をはじめ市社会福祉協議会や民生委員・児童委員などの関係機関との連携を深めるとともに、複合的課題に対する包括的な支援体制の整備を図り、「誰^{だれ}もが輝き、やさしさと支え合いで、安心して暮らせるまち」を目指します。

◆生活保護

適正な認定と支給に努めるとともに、受給者の自立を促すため就労支援などをさらに推進します。また、生活困窮者自立支援法に基づき、自立支援策の強化を図ります。

◆国民健康保険

平成30年度から県との共同運営になり、本年度は制度改正後2年目に入ります。資格の管理、国保税の賦課徴収、医療費の給付、さらには、保健事業として特定健康診査・特定保健指導の実施など、市民の健康管理と密接な業務を展開し、持続可能な安定した制度の運営に努めます。

◆後期高齢者医療保険

県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、健全な事業の運営に努めます。

また、国保、高齢者医療の財政の健全化を推進するため、生活習慣病の早期発見・治療、重症化予防を目的とした特定健康診査・高齢者健康診査の受診率向上を図れるよう、未受診者対策に積極的に取り組めます。さらに、健康に対する意識の高揚を図るため、人間ドックなどの助成事業を継続して実施していきます。

◆成人保健

健康寿命の延伸を図ることを目標として「那珂市健康増進計画」に基づいた事業を進めるとともに、生活習慣病の早期発見のための健診や、がん検診などの受診率向上に努めながら、きめ細かな保健指導を実施し、生活習慣の改善や合併症の発症などの重症化予防に重点を置いた対策を行います。

また、新たに、人工透析への移行防止のため、かかりつけ医や糖尿病専門医との連携を図りながら、糖尿病性腎症重症化の予防に取り組みます。



4 未来を担う人と文化を育むまちづくり

◆学校教育

豊かな心を育む学校教育の充実を図ることを目標に「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「自分らしい生き方や自立」の育成を図ります。

確かな学力を培うため、発達段階に応じた多様な指導方法の活用や、小中一貫教育指導講師による小学校における教科担任制のほか、障がい児学習指導員の配置により、児童・生徒の能力・適性に合わせたきめ細かな指導を行います。

また、英語教育については、次期学習指導要領により小学校における教科化などを踏まえ、小学校にALT（外国語指導助手）を増員配置して授業時数の拡充強化を図るとともに、中学校においてもALTを活用した授業改善を進め、「聞いて、話せる英語力」の育成を推進していきます。

さらに、新たな時代に対応する教育となるプログラミング教育の必修化を見据え、プロジェクト研究などをさらに推進するとともに、日本大学をはじめとした大学機関と連携し、教職員や児童・生徒との学習会や研修会を実施します。

◆小中一貫教育

義務教育の9年間における成長を見通した、連続的・系統的できめ細かな学習指導や生徒指導を4年間実践してきました。今後はさらなる学園連携の深化に向け、学びの連続性を意識した授業づくりや生活・文化面での決まりの統一、創意のある小連携・小中連携の交流実践などに努めます。

◆幼児教育

4月に開園するひまわり幼稚園において、幼児期の特性に応じた指導を通して小学校に向けた学習の基礎を築くため、幼稚園教育の一層の充実を図ります。

新たな取り組みとして、ALTが常駐し、園児が日常の中で自然と外国人・外国語・外国文化に触れ、グローバルな感覚の育成や国際感覚を体感できる環境を提供します。さらに、外部の専門講師による体育指導を導入し、将来の運動能力を左右する基礎運動能力を高め、小学校期の健全な発達につなげます。



◆いじめ問題

いじめ防止に向け、いじめ問題対策連絡協議会や生徒指導懇話会など関係機関との連携を密にし、地域と一体になっていじめ問題の克服に取り組めます。また、多様な相談に応じるため、教育支援センターの相談・支援機能をいかし、心の教室相談員や心理カウンセラーなど、身近な相談体制の充実を図ります。

◆教育支援センター

いじめ問題やさまざまな悩みを持つ子どもたちの相談、教育に関する保護者の相談、登校復帰を目指した子どもたちが学べる適応指導教室などの活動を行っています。平成32年度には旧戸多小学校の校舎へ移転し、広く落ち着いた環境の中でさらに支援活動を充実させるため、改修工事を進めます。

◆社会教育学校施設

引き続き市子ども会育成連合会や市文化協会、青少年育成那珂市民会議などの活動を支援します。

また、白鳥学園瓜連小・中学校の「コミュニケーション・スクール」では、地域と学校が連携した教育活動を実践し、今後も、きめ細かで特色のある那珂市らしい教育活動の推進に取り組めます。

◆青少年健全育成

社会教育委員や青少年相談員などの関係機関と連携・協力し、学習機会の提供や啓発活動を推進するとともに、社会環境づくりと相談体制の充実を図りながら、青少年が健やかに育つ環境づくりを推進します。

◆市立図書館

読書の意義や重要性について広く普及・啓発を図るとともに、市民ニーズに応じた図書館資料を効果的に収集し、学習環境の充実に努めます。

また、新たに策定した「第3次那珂市読書活動推進計画」に基づき、市民が読書に慣れ親しむ機会の提供および習慣づくりを推進します。さらに、地域や学校などの関係機関と連携・協力し、子どもたちの読書活動を支援します。

◆市中央公民館

市民の意向を反映した講座の充実や自主事業の積極的な展開など、市民ニーズに対応するとともに、各区まちづくり委員会との連携を深めながら市民の生涯学習活動の活性化を図ります。

◆スポーツの推進

「那珂市スポーツ振興基本計画」に基づき、競技力の向上や市民の健康増進、スポーツを通じた交流の促

進を図ります。また、スポーツ振興の中核を担う市体育協会や、運動習慣がないかたに対してスポーツに取り組む機会を提供する総合型地域スポーツクラブ「ひまわりスポーツクラブ」の活動を支援するとともに、人材の育成・確保に努めます。

◆スポーツ環境の整備

市民のニーズに応じた魅力ある教室を開講し、スポーツに親しむ機会を提供するとともに、スポーツを通じた人材の育成を促進します。

また、戸多地区河川敷に「かわまちづくり支援制度」を活用した多目的広場などを整備するほか、旧戸多小学校体育館を地区体育館として整備するなど、スポーツ環境の充実に努めます。

◆第74回国民体育大会

県立水戸農業高等学校特設馬術競技場で行われる正式競技の「馬術」、那珂総合公園アリーナで行われるデモンストラションスポーツの「3B体操」の競技会が滞りなく運営できるように、市民や関係団体との実施体制を強化し、大会成功に向け準備に万全を期します。

◆歴史遺産・伝統文化

市民が郷土の歴史や伝統を身近なものと感じられるよう、歴史民俗資

料館を拠点に企画展や季節展の充実に努めます。また、市民との協働による額田城跡の計画的な保存管理をはじめ、郷土の歴史遺産と伝統文化を保存・継承するとともに、活用を図ります。

◆国際交流

多文化共生社会の実現に向け、国際交流協会と連携し、さまざまな事業を実施します。また、国際親善姉妹都市であるアメリカ合衆国オークリッジ市との交流により、国際感覚を養い、グローバル社会において日本文化を海外に発信することができ、人材の育成に努めます。

◆市民交流事業

秋田県横手市との交流をより深めるため、友好都市交流活動支援事業補助制度を活用した市民による自主的な交流を支援します。

また、平成31年度は横手市との友好都市締結15周年に当たるため、両市の友好交流の歩みを振り返るパネル展などを実施します。



5 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり

◆農業振興

食と農の連携によるアグリビジネスを推進し、消費者のベストパートナーを目指した農業者の意識改革を図るとともに、さまざまな分野の人々と地域資源との連携の中から新たな価値を生み出す「プラスワンの価値づくり」を目指し、販路拡大のためのPR、消費者との交流促進に努めます。

◆生産基盤の整備

有ヶ池地区および芳野地区において県営事業を引き続き実施するとともに、新木崎地区などの水田ほ場再整備や畑地帯総合整備事業による畑地の整備を推進します。

また、既存施設の長寿命化や更新を進めながら、多面的機能支払交付金による地域共同活動を支援し、農業生産基盤の適切な保安全管理に努めます。

◆商工業の振興

商工業の活性化に向けて取り組むとともに、自治・振興金融制度による事業資金の融資および雇用対策としての就職活動の支援、市産業祭の開催、特産品ブランド化推進事業、さらには、企業コーデイネーターを

配置し、中小企業・小規模事業者向けの相談窓口の設置、および支援を行う「よろず相談事業」に取り組みます。

また、産業競争力強化法による「創業支援事業計画」に基づき、市と民間の事業者が連携を強化し、開業率の向上と雇用の確保を目指します。

◆企業誘致

固定資産税の優遇対象となる業種を拡充し、県や関係機関との連携により一層の誘致活動に取り組みます。

◆観光振興

静峰ふるさと公園などの既存施設や、市の歴史、文化、自然、人などの地域資源をいかし、交流人口の拡大を図ります。

また、観光と商業・農業などの地域産業が連携する仕組みをつくることにより、地域経済の活性化を図るほか、市観光協会をはじめ関係機関と協力し、市の魅力や情報を積極的に発信して市のイメージアップに努めます。



6 行財政改革の推進による自立したまちづくり

◆行財組織

行政サービスの向上や効率的な行政運営を推進するために、平成32年度組織改編に向けて検討します。

◆職員研修

人材育成と能力開発をめざし、各種研修に参加して、政策形成、行政経営、危機管理など幅広い分野の人材を育成します。また、実務的な面から職員のスキルアップを図るために、他の公共団体への派遣や、被災地の復興支援の派遣を実施します。

◆行財政改革

新たに策定した「第4次行財政改革大綱」に基づき、効率的な市政運営に向けた取り組みを進めます。

◆広域連携

県央地域全体で必要な生活機能を確保し、圏域への人口定住を促進するため「茨城県央地域定住自立圏共生ビジョン」の取り組み方針に基づき、医療・福祉など各政策分野において連携を図ります。

◆市税等

収納率向上への取り組みを推進し、行財政運営の基盤となる自主財源の確保に努めます。

◆マイナンバー制度

情報連携および「マイナポータル」の運用が開始され、子育てに関する行政手続きはオンライン（子育てワンストップサービス）で行うことができるようになりました。「マイナポータル」は行政からのお知らせを発信するための仕組みもあるため、市民が求めている情報を的確に発信できるよう活用します。

◆マイナンバーカードの活用

すでに開始されているマイナンバーカードでの住民票の写しなどのコンビニ交付に加え、新たに税関係証明書の交付についても平成31年12月からコンビニ交付が開始される予定となっています。

今後、さまざまな分野での利活用が見込まれるため、国などからの情報を収集して安心・安全な利用環境の構築や適切な管理、市独自利用の検討などを進め、マイナンバーカードの普及を図ります。

以上、平成31年度の市政運営に当たつての基本的な考え方と主要施策の概要について申し上げます。地方自治体を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。私が掲げる「活力ある那珂市」の実現に向け、先に述べた各種施策を一つひとつ確実に推進しながら、市民生活において真の豊かさが実感できるよう全力を挙げて取り組んでまいります。

ここに、議員各位をはじめ市民の皆さまのより一層のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

平成31年3月1日

那珂市長

先崎 光



平成31年度 那珂市予算

問 い
合 わ せ

財政課財政グループ
☎298-1111
(内線522)

平成31年度会計別予算額

(単位：千円)

会計名	平成31年度 予算額	平成30年度 予算額	増減率
一般会計	19,500,000	20,720,000	△ 5.9%
特別会計	14,244,900	14,486,000	△ 1.7%
国民健康保険（事業勘定）	5,700,000	5,803,000	△ 1.8%
下水道事業	2,150,000	2,230,000	△ 3.6%
公園墓地事業	12,900	12,000	7.5%
農業集落排水整備事業	1,128,000	1,107,000	1.9%
介護保険（保険事業勘定）	4,603,000	4,608,000	△ 0.1%
上菅谷駅前地区土地区画整理事業	0	105,000	皆減
後期高齢者医療	651,000	621,000	4.8%
合計	33,744,900	35,206,000	△ 4.2%

平成31年度的那珂市予算は、歳入では収入の根幹となる市税について増額と見込まれます。

歳出では、市道の改良・補修、市街化区域の整備などの社会基盤整備や移住・定住事業などのシティプロモーションの充実、子育て環境の充実や特色ある幼児教育の実現を図る一方で、増加の一途をたどっている扶助費など厳しい財政状況を見据えた中で、徹底した経費の節減と事務事業の見直しを進め、財源の効率的な配分に努めました。

平成31年度水道事業会計予算額

(単位：千円)

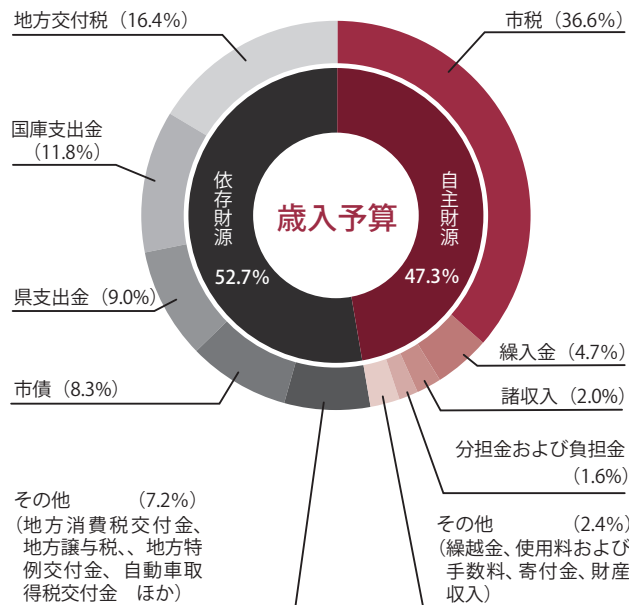
区分	平成31年度 予算額	平成30年度 予算額	増減率	
収益的収支	収入	1,175,739	1,173,093	0.2%
	支出	1,098,678	1,066,535	3.0%
資本的収支	収入	817,570	708,738	15.4%
	支出	1,221,348	1,252,110	△ 2.5%

市の水道事業は、民間企業と同様に企業会計を導入し、独立採算で運営しています。

本年度の主な建設改良事業として、薬品沈殿槽築造・機械設備工事および木崎浄水場系送水管新設工事などの木崎浄水場の更新、後台浄水場地下水系改良工事、新設配水管布設工事、老朽管更新工事および消火栓設置工事などを行う予定であり、さらなる施設の維持管理の強化を図り水道水の安定供給に努めます。

一般会計

歳入



平成31年度一般会計歳入予算

(単位：千円)

区分	平成31年度 予算額	平成30年度 予算額	増減率
自主財源	9,226,434	9,829,887	△ 6.1%
市税	7,134,945	6,963,192	2.5%
繰入金	915,702	1,719,202	△ 46.7%
諸収入	397,462	399,725	△ 0.6%
分担金および負担金	303,945	271,948	11.8%
繰越金	250,000	250,000	0.0%
使用料および手数料	173,071	171,441	1.0%
寄付金	40,002	40,003	△ 0.0%
財産収入	11,307	14,376	△ 21.3%
依存財源	10,273,566	10,890,113	△ 5.7%
地方交付税	3,200,200	3,200,200	0.0%
国庫支出金	2,301,727	2,494,373	△ 7.7%
県支出金	1,769,002	1,430,746	23.6%
市債	1,620,546	2,416,820	△ 32.9%
地方消費税交付金	933,280	883,449	5.6%
地方譲与税	269,400	276,900	△ 2.7%
地方特例交付金	55,448	43,640	27.1%
自動車取得税交付金	49,981	71,600	△ 30.2%
その他※	73,982	72,385	2.2%
合計	19,500,000	20,720,000	△ 5.9%

※配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、利子割交付金、交通安全対策特別交付金、ゴルフ場利用税交付金

市税 (単位：千円)

主な費目	予算額	増減率
市民税	2,999,594	2.2%
固定資産税	3,270,225	3.2%

地方交付税 (単位：千円)

主な費目	予算額	増減率
普通地方交付税	3,000,000	前年同
特別地方交付税	200,000	前年同



国庫支出金 (単位：千円)

主な費目	予算額	増減率
障害福祉サービス給付事業負担金	448,500	4.4%
生活保護費負担金	371,352	2.6%
民間保育所児童運営費負担金	334,071	10.3%

県支出金 (単位：千円)

主な費目	予算額	増減率
馬術競技会場整備費負担金	255,480	皆増
障害福祉サービス給付事業負担金	224,250	4.4%
民間保育所児童運営費負担金	178,087	0.9%

市債 (単位：千円)

主な費目	予算額	増減率
防災行政無線デジタル化事業債	367,400	△ 46.1%
教育支援センター整備事業債	163,900	皆増
市道整備事業債	93,700	△ 43.7%

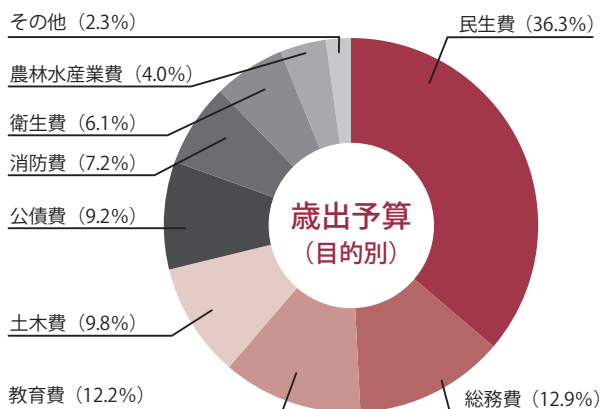
歳出



平成31年度一般会計歳出予算(目的別) (単位：千円)

区分	平成31年度 予算額	平成30年度 予算額	増減率
民生費	7,079,002	7,067,893	0.2%
総務費	2,513,785	2,350,695	6.9%
教育費	2,370,021	3,003,612	△ 21.1%
土木費	1,915,551	2,231,887	△ 14.2%
公債費	1,799,726	1,831,124	△ 1.7%
消防費	1,406,011	1,705,053	△ 17.5%
衛生費	1,190,778	1,196,505	△ 0.5%
農林水産業費	776,054	846,336	△ 8.3%
その他※	449,072	486,895	△ 7.8%
合計	19,500,000	20,720,000	△ 5.9%

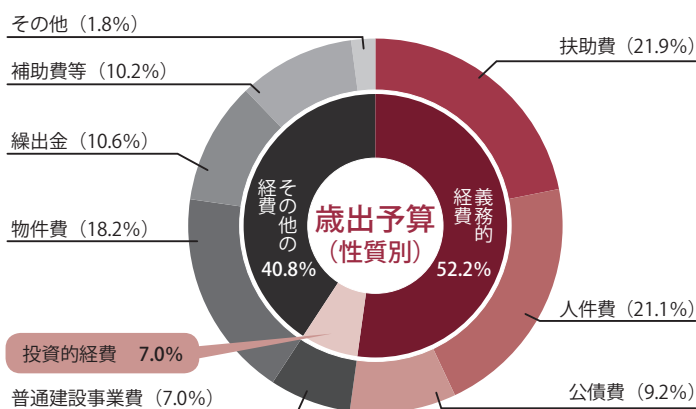
※議会費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費




平成31年度一般会計歳出予算(性質別) (単位：千円)

区分	平成 31 年度 予算額	平成 30 年度 予算額	増減率
義務的経費	10,175,825	9,949,210	2.3%
扶助費	4,262,504	4,063,308	4.9%
人件費	4,113,596	4,054,779	1.5%
公債費	1,799,725	1,831,123	△ 1.7%
投資的経費	1,366,432	2,544,362	△ 46.3%
普通建設事業費	1,366,422	2,544,352	△ 46.3%
補助事業費	372,818	733,446	△ 49.2%
単独事業費	993,604	1,810,906	△ 45.1%
災害復旧事業費	10	10	0.0%
その他の経費	7,957,743	8,226,428	△ 3.3%
物件費	3,549,121	3,348,923	6.0%
繰出金	2,068,694	2,204,091	△ 6.1%
補助費等	1,986,328	2,346,566	△ 15.4%
その他※	353,600	326,848	8.2%
合計	19,500,000	20,720,000	△ 5.9%

※維持補修費、積立金、投資および出資、貸付金、予備費





こんなことに使われています



※市民1人当たりの予算額(平成31年度予算額を、平成31年3月1日現在の人口54,910人で割って算出)

総務費 全般的な管理事務などに 1人当たり* 45,780円

市民自治組織支援事業

地区まちづくり委員会や自治会の活動に対し、財政的な支援を行います。

108,935千円

いい那珂暮らし応援子育て世帯住宅取得助成事業

社会動態による年間増加者数30人の目標に向け、子育て世帯の住宅取得を助成します。

16,000千円



シティプロモーション推進事業

「那珂市シティプロモーション指針」に基づき、人口還流に結び付けていくための情報発信を行います。

10,854千円

民生費 高齢者や障がい者の福祉、子育て支援、生活保護などに 1人当たり 128,920円

障害福祉サービス給付事業

障がい者や難病患者などが、地域で自立した生活を送れるようサービス給付を行います。

1,078,282千円

民間保育所等児童入所事業

要保育児童などの保育・教育を民間施設(保育所・幼稚園・認定こども園)で実施します。

1,064,000千円

児童手当支給事業

中学校修了前までの児童・生徒を養育している保護者などに対し、児童手当を支給します。

834,600千円

衛生費 病気予防や健康増進、火葬場斎場の維持管理、ごみ処理などに 1人当たり 21,686円

予防接種事業

感染や発病、感染症のまん延を予防するため、定期または任意の予防接種費用を助成します。

129,050千円

家庭系可燃ごみ収集事業

一般家庭から排出される一般廃棄物(可燃ごみ)の収集・運搬を行います。

101,555千円

各種検診事業

がん検診をはじめ、各種検診を行うことで、がんの早期発見、生活習慣病の発病予防を支援します。

48,765千円

農林水産業費 農林業の振興、生産基盤の整備などに 1人当たり 14,133円

土地改良基盤整備事業

農道、排水路、ため池など農業用施設の整備を行い、農業生産性の向上および農業構造の改善を図ります。

92,013千円

経営所得安定対策奨励補助事業

転作団地を中心として、生産性および品質の向上を目指した転作実施者に対し、補助を行います。

53,100千円

土地改良推進事業

茨城県土地改良事業団体連合会などへの負担金のほか、土地改良事業を推進します。

42,517千円

商工費 商工業や観光の振興などに 1人当たり 4,081円

中小企業振興対策事業

中小企業者の円滑な資金調達を支援するため、自治金融・振興金融制度の利用者に対する信用保証料および利子の補給を行います。

15,086千円

商工会補助事業

中小企業の活性化を促進するため、各種指導・相談業務を行う商工会に補助を行います。

13,000千円

なかひまわりフェスティバル事業

市の花「ひまわり」をメインテーマとしたイベントを開催し、市内外の人々との交流、親睦を図ります。

12,744千円

土木費 道路の整備や河川、公園、市営住宅の管理などに 1人当たり 34,885円

道路改良舗装事業

自動車や自転車、歩行者が安心して移動できる車道・歩道の整備を行います。

333,485千円

道路維持補修事業

道路における交通の安全を確保するため維持補修を行い、危険防止を図ります。

163,654千円

菅谷市毛線街路整備事業

市の活性化、交通網の整備、市街地整備のため、菅谷市毛線の整備および排水路工事を行います。

163,100千円

消防費 消防や救急活動、災害対策などに 1人当たり 25,606円

防災設備整備事業

防災行政無線のデジタル化に伴うシステム更新および災害時に自治会などとの通信手段を確保するためのIP無線の整備を行います。

382,934千円

常備消防車両整備事業

消防活動を迅速かつ適切に行うため、水槽付ポンプ自動車を購入します。

64,039千円

消防団設置事業

市消防団の維持管理のため、消防団員への報酬の支払いや備品の購入などを行います。

32,801千円

教育費 学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツの振興などに 1人当たり 43,162円

教育支援センター整備事業

不登校の児童・生徒の学校復帰や、教育的支援が必要な児童・生徒および保護者に対し、旧戸多小学校を改修し、教育支援センターを整備します。

189,207千円

国民体育大会準備事業

平成31年度に地元開催となる第74回国民体育大会の成功に向け、機運を醸成するほか、リハーサル大会および本大会を実施します。

95,236千円

ひまわり幼稚園運営事業

新たに統合したひまわり幼稚園で、英語教育や、運動指導などの特色ある教育を進めます。

26,734千円

公債費 市債の返済に 1人当たり 32,776円

起債償還元金

過去に公共施設を建設するためなどの財源として借り入れた、市債を返済します。

1,702,620千円

起債償還利子

過去に公共施設を建設するためなどの財源として借り入れた、市債の利子を返済します。

96,105千円



平成31年第1回那珂市議会定例会

3月1日～20日の20日間の会期で開催

市長提出議案は、報告2件、条例の制定・一部改正8件、平成30年度補正予算9件、平成31年度予算8件、その他9件の合計36件について審議され、全議案について原案のとおり可決されました。



行政概要報告

■那珂ふるさと大使

1月10日、市中央公民館において、新たに那珂ふるさと大使となったかたへ委嘱状を交付し、新年賀詞交歓会で紹介しました。

■市長と話そうふれあい座談会

平成30年11月30日「市長と話そうふれあい座談会」を開催し、那珂市PTA連絡協議会女性ネットワーク委員会から17人の参加がありました。

■平成30年7月豪雨による被災地への職員派遣

平成30年7月に西日本で発生した豪雨により被災した市町村において被災地の復旧、復興業務に従事する職員の派遣について、全国市長会をはじめ総務省、全国町村会から派遣要請があり、平成30年10月1日～12月31日の3か月間と1月1日～3月31日の3か月間、技術職員1人ずつを広島県東広島市へ派遣しました。

■県議会議員一般選挙(那珂市選挙区)

県議会議員一般選挙(那珂市選挙区)を次のとおり執行しました。

選挙期日	平成30年12月9日
当日有権者数	4万6222人
投票人員	2万2013人
投票率	47・62%

■市議会議員補欠選挙

市議会議員補欠選挙を次のとおり執行しました。

選挙期日	平成30年12月9日
当日有権者数	4万6211人
投票人員	2万1891人
投票率	47・37%

■市長選挙

2月3日執行の市長選挙は、1月27日に告示され、届出のあった候補者が1人であったため、無投票となりました。

■安定ヨウ素剤事前配布会(第2期)

1月20日、事前配布対象地区の本米崎地区住民を対象に第2期配布会(第1期2回、平成30年度全3回)を実施しました。総配布実績は、対象者1042人に対し、配布者は598人、配布率は57・4%です。

来年度以降も追加配布会を実施していきます。

■東海第二発電所の新規規制基準適合性審査等の結果に係る住民説明会

1月24日、総合センターらぼーるで、県主催の「東海第二発電所の新規規制基準適合性審査等の結果に係る住民説明会」を行いました。同説明会は、主に発電所から30km圏内にある14市町村の住民を対象とし、全6回開催中、第2回目の開催となりました。

昨年11月に東海第二発電所の再稼働に必要な国の審査が終了したこと

を受け、発電所の安全対策に関する情報を住民に広く情報提供することを目的とするもので、104人が参加しました。

■常磐自動車道側道周辺の不法投棄物撤去作業の実施

平成30年12月1日、常磐自動車道側道の不法投棄物撤去を実施しました。各地区まちづくり委員会、市内事業所など総勢382人が参加し、約1100kgの不法投棄物を撤去しました。

■東京都台東区ふるさと交流ショップの出店

1月24・29日、浅草千束通商店街「ふるさと交流ショップ台東」において、特産品ブランド認証品をはじめ、新鮮野菜やほしいもなどの農産物を販売し、市の魅力発信と観光PRを行うなど、台東区民との交流を深めました。

■市教育振興大会

平成30年12月26日、総合センターらぼーるで「第15回那珂市教育振興大会」を開催し、教育の分野で功績のあったかたがたを表彰するとともに、教職員による研究成果の発表を行いました。

また、県教育委員会教育長の柴原宏一氏を講師に招き、教育現場の経験から見た教員像などについて「私の考える教員の魅力」と題し、記念講演を行いました。

■ひまわり幼稚園園舎内覧会

1月26日、4月に開園予定の市立ひまわり幼稚園園舎の内覧会を開催しました。4月に入園予定の親子をはじめ、575人の市民が来園しました。訪れた児童は、広くてきれいな園舎に目を輝かせ、遊戯室では備え付けられたボルダリングで遊ぶ姿も見られました。

■市教育表彰及び小中一貫教育発表会

2月16日、総合センターらぼーるで「平成30年度那珂市教育表彰及び小中一貫教育発表会」を開催しました。教育表彰および善行表彰では、スポーツや文化活動などで優秀な成績を収めた児童・生徒や献身的な活動の功績に対して表彰を行いました。

発表会では、5つの学園ごとにテーマを掲げ、代表の児童・生徒が1年間の小中一貫教育の活動状況などについて発表を行いました。

■平成31年成人式

1月12日、那珂総合公園アリーナにおいて、新成人395人の出席のもと成人式を挙行し、新成人としての門出を祝福しました。新成人対象者は517人、出席率は76.4%でした。

■地域学校教育課協働活動推進に係る文部科学大臣表彰受賞

平成30年12月3日、文部科学省講堂において、地域と学校が連携・協働して実践している地域学校協働活動の中から、他の模範と認められた

団体に贈られる「地域学校協働活動推進に係る文部科学大臣表彰」を白鳥学園学校運営協議会（コミュニティ・スクール）が受賞しました。

■市冬季駅伝競走大会

平成30年12月2日、那珂総合公園および周辺道路で、市体育協会主催「第56回那珂市冬季駅伝競走大会」が開催され、7部門129チームが参加しました。

■戸多地区かわまちづくり現地見学会

2月9日、「かわまちづくり」支援制度により多目的広場などの整備を進めている戸多地区河川敷において、戸多地区かわまちづくり現地見学会を開催しました。

■消防業務

事業所や学校などを対象に消防訓練指導を27回行い、2999人の参加のもと、防火防災知識の習得と防火意識の向上を図りました。また、応急手当への普及のため、普通救命講習会を11回行い、216人が受講しました。

火災出場件数は7件、救急出場件数は606件となっています。

また、1月13日、那珂総合公園で、消防出初式を開催し、関係者500人が参加しました。

■東日本大震災

市民の放射線に対する不安を解消するため、公共施設などにおける空間放射線量および水道水の放射性物

質濃度の測定を引き続き実施するとともに、簡易測定器により、保育所や学校の給食食材および市内で生産された農畜産物を独自に検査し、食における安全の確保と風評被害の防止に努めています。これらの測定結果については、ホームページや広報紙などで公表しています。

なお、市内および県内農産物の放射性物質検査については、原木しいたけを除いたすべての農産物において未検出または基準値以下のため、出荷制限は解除されています。

また、被災されたかたを支援するため、引き続き被災者生活再建支援制度による国の支援金および災害見舞金を支給しています。

市長提出議案

【報告】

■専決処分について

損害賠償請求に関する和解および損害賠償額の決定 2件

【条例の制定・一部改正】

■那珂市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

■那珂市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

■那珂市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例

■那珂市災害給付金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

■那珂市指定地域密着サービスの事業に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

■那珂市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例

■那珂市特別会計設置条例の一部を改正する条例

■那珂市地区体育館の設置及び管理に関する条例

【平成30年度補正予算】

■一般会計（第7号） ほか8件

【平成31年度予算】

■一般会計 ほか7件

【その他】

■公の施設の広域利用に関する協議について

■損害賠償請求に関する和解及び損害賠償額の決定について

■土地売買契約の一部を変更することについて

■市道路の認定について

■市道路線の変更について

■市農業委員会委員の任命について

■市固定資産評価審査委員の選任について

■市政倫理審査会委員の委嘱について

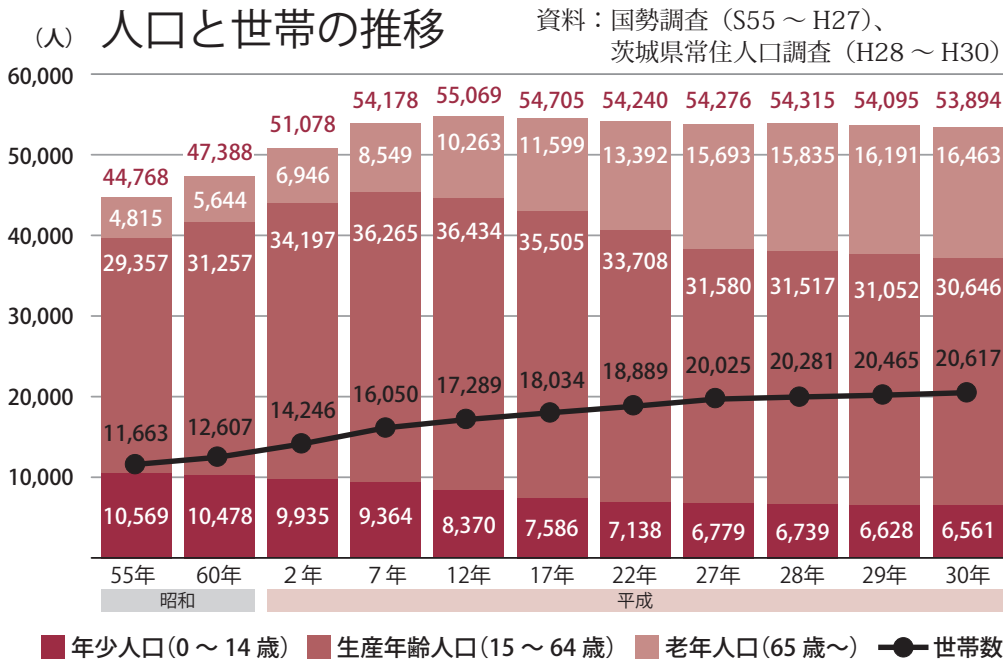
■市教育委員会委員の任命について

どうなる那珂市！？

統計データでみる人口問題

日本は今、急速な少子高齢化が進展し、地方の人口減少が進んでいます。那珂市は現在どういう状況で、どのような対策を行っているのか、統計データを基に見ていきましょう！

少子高齢化



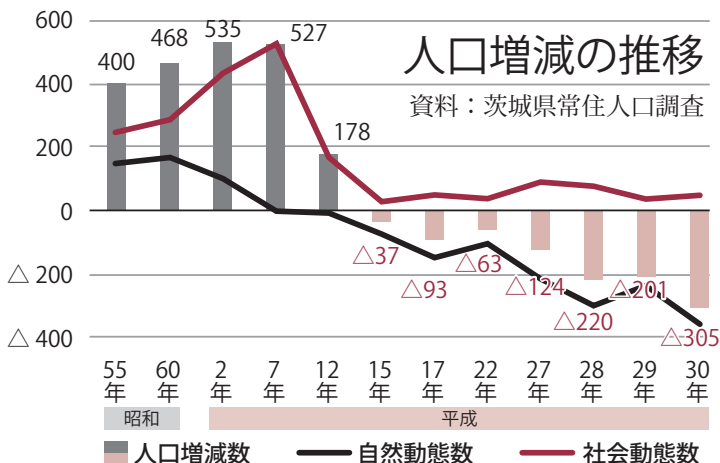
昭和55年は老年人口1人を生産年齢人口6.1人で支えていたけど、平成30年は1.9人で支えている状況だね。



ポイント

- 人口は平成12年をピークになだらかに減少傾向にあります。
- 年少人口は昭和55年以降減少傾向に対して、老年人口は常に増加傾向にあり、平成7年に高齢社会(100人中14人が65歳以上)、平成17年に超高齢社会(100人中21人が65歳以上)に突入しています。
- ※合計人数には、年齢不詳の人数が含まれています。

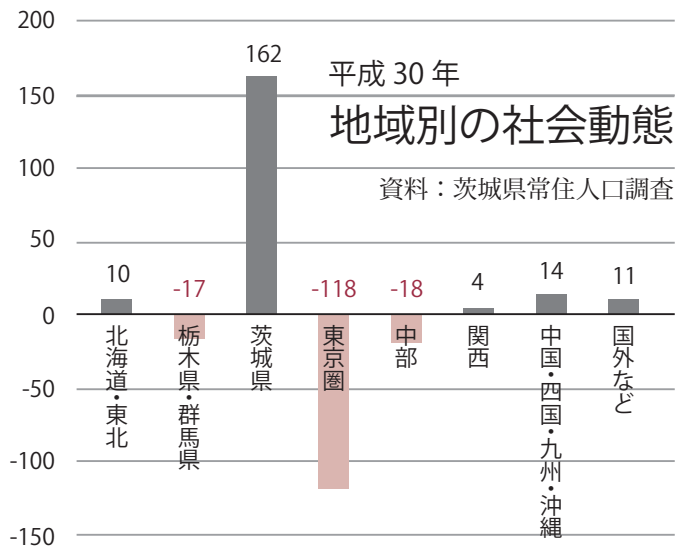
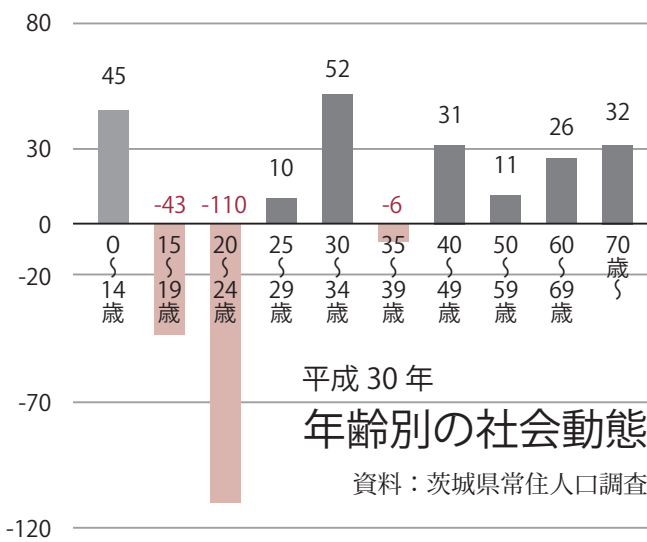
人口減少



ポイント

- 平成15年以降は自然動態数(出生または死亡による人口の増減)が減少したことで人口減少が進んでいます。
- 社会動態数(転入または転出による人口の増減)は、平成15年以降は転入者と転出者が拮抗している状態が続いています。

若者の流出



グラフを見ると、県内の子育て世代が移住してきているが、若者は東京圏へ流出していることが分かります。

ポイント

- 15～24歳の減少については進学や就職に伴うものと考えられます。
- 25～34歳および40～49歳の増加については、0～14歳も増加していることから家族で転入していることが考えられます。
- 社会動態の増加の主な要因は、県内から市内への転入者によるものであり、減少の主な要因は東京圏への転出者によるものです。

統計資料を見ると、日本で起きている問題は那珂市でも同じように起きているみたいだね。那珂市はどんな取り組みをしているの？



人口の社会動態増加傾向を維持していくとともに、出生数を増加させるための次の施策に取り組んでいます。

安定した雇用の創出

- 相談窓口の設置
- 創業セミナーの実施など

那珂市への移住・定住を促進

- 子育て世帯への住宅取得助成
- お試し居住の実施など

結婚・出産・子育てを応援

- ライフプラン教育の実施
- 小児マル福対象枠の拡大など

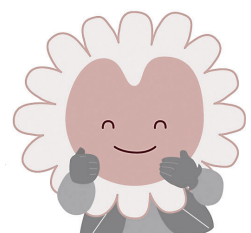
※施策の詳細は、市ホームページに掲載している「那珂市総合戦略」をご覧ください。

問い合わせ

政策企画課情報政策グループ
☎298-1111 (内線434)

統計データから人口減少などの問題点を見つけられたね。

統計データは施策を作る上でとても重要な役割を果たしているんだ！



まちづくり出前講座をご利用ください！

まちづくり出前講座とは、市の仕事を市民の皆さんに知っていただくために、ご希望のテーマについて市の職員を講師として派遣する制度です。市内に在住、在勤、在学する10人以上のかたで構成されたグループであれば、どなたでもご利用いただけますので「まちづくり出前講座メニュー」をご参照の上、ふるってご利用ください。なお、利用方法などの詳細については、市民協働課までお問い合わせください。

問い合わせ 市民協働課市民活動グループ ☎298-1111 (内線264・265)

【まちづくり出前講座メニュー】 ※講師料は無料ですが、材料費などについてはご負担いただく場合があります

分野	講座番号	講座名称 (テーマ)	説明内容	担当課(室)	説明時間
① 市民との協働のまちづくり	1	協働のまちづくりの取り組み	市が進めている協働のまちづくりの基本的な方向性について	市民協働課	30～60分
	2	男女共同参画	第2次那珂市男女共同参画プランについて		30～60分
	3	身近な人権教育を考える	人権(人権教育)について	市民相談室	45～60分
② 防災・防犯・交通安全	4	いざと言うときのために 応急手当てを覚えよう	身近なところで起こる、ケガや病気に対する応急手当てについて	消防本部警防課	60～90分
	5	とっさのときの応急手当て (心肺蘇生法)を覚えよう	突然の心停止などに対する応急手当ての習得とAEDの使用方法について		3時間以上
	6	火災を防ぐ	住宅用火災警報器や消火器などについて	消防本部予防課	60分
	7	家庭や地域での防災力の向上	家庭や地域で行う「災害への備え」「災害時の行動」などについて	防災課	30分
	8	家庭や地域での防犯力の向上	家庭でできる防犯の心がけ、自警団(防犯パトロール隊)の設立や活動内容、防犯に関する市の取り組みについて		30分
	9	交通安全対策の取り組み	交通事故の現状や市、那珂警察署、交通関係団体が行っている交通事故防止に向けた取り組みについて		30分
	10	私たちの暮らしと放射線	放射線の基礎知識などについて		60分
		11	悪質商法と対処法	悪質商法の内容とその対処について	消費生活センター
③ 環境	12	ごみの分別や減量など	ごみの分別や減量などについて	環境課	30分
	13	地球温暖化防止	地球温暖化防止対策について		30分
④ 道路・建設	14	都市計画道路	那珂市における都市計画道路の整備状況について	都市計画課	20分
	15	街づくりの進め方	那珂市における街づくり事業の事例紹介について		30分
⑤ 上下水道	16	市内の水環境の向上	公共下水道や農業集落排水(合併処理浄化槽を含む)のしくみ、宅地内の排水設備、下水道の負担金や使用料などについて	下水道課	45分
⑥ 福祉・医療・健康・年金	17	生活習慣病予防講座	メタボリックシンドロームを中心とした、生活習慣病の予防について	健康推進課	60分
	18	子どもの食事	乳幼児期からの栄養について		60分
	19	子育て支援	子育て支援事業の概要について	こども課	40分
	20	乳幼児の発達に応じた かかわり方	乳幼児の発達に応じたかかわり方や親子遊びなどについて	保育所、 子育て支援センター	40分
	21	高齢者の福祉サービス	介護保険以外の高齢者施策について	介護長寿課	20～30分

分野	講座番号	講座名称(テーマ)	説明内容	担当課(室)	説明時間
⑥ 福祉・医療・健康・年金	22	障がい者のサービス	総合支援法によるサービスを含め、当市で受けられるサービスについて	社会福祉課	60分
	23	障害者差別解消法	「差別を行ってはいけないこと」「どのようなことが差別に当たるか」「障がい者への合理的配慮」などの概要について		30分
	24	那珂市地域福祉計画※新規	第3次那珂市地域福祉計画の概要について		30分
	25	介護保険制度	介護保険制度の概要について	介護長寿課	45分
	26	国民年金	国民年金の概要について	保険課	20～30分
	27	国民健康保険	国民健康保険の概要について		45分
	28	後期高齢者医療制度	後期高齢者医療制度の概要について		30分
	29	地域包括支援センター	地域包括支援センターの業務内容について	介護長寿課	30分
	30	認知症サポーター養成講座	認知症に対する正しい知識と理解を持って、認知症のかたやその家族を見守ることについて		60～90分
	⑦ 教育・生涯学習・生涯スポーツ	31	那珂市の学校教育	学校教育の基本方針について	学校教育課 指導室
32		小中一貫教育	小中一貫教育の概要について	30分	
33		教育支援センターにおける相談体制	いじめ問題や不登校の児童・生徒への対応について	30分	
34		図書館案内	市立図書館の概要と利用案内について	市立図書館	30分
35		那珂市のスポーツ振興	スポーツ振興基本計画と各種教室について	スポーツ推進室	30分
⑧ 歴史・文化	36	那珂市の歴史と文化財	那珂市の古代からの歴史や市内の指定文化財、遺跡などの紹介について	歴史民俗資料館	60分
⑨ 産業・観光	37	那珂市の観光	那珂市の観光地の見どころやイベントなどについて	商工観光課	30分
	38	那珂市の農業	那珂市の農業振興や農業の現状について	農政課	30分
⑩ 行政改革・財政・税金	39	那珂市総合計画	第2次那珂市総合計画の概要について	政策企画課	30分
	40	わが市の台所事情(財政)	那珂市の財政状況について	財政課	60分
	41	市民税と固定資産税のしくみ	市税に関する税制度について	税務課	60分
	42	那珂市の行財政改革	那珂市の行財政改革の取り組みについて	行財政改革推進室	60分
⑪ その他	43	陳情や請願の申請	陳情や請願の申請手続き方法について	議会事務局	10分
	44	選挙のしくみ	選挙のしくみについて	総務課	30分
	45	情報公開と個人情報保護	市の情報公開制度に基づく情報の開示と個人情報の保護について		30分
	46	マイナンバー制度とマイナンバーカード	マイナンバー制度の概要とマイナンバーカード(個人番号カード)の申請方法や住民票の写しなどが取れるコンビニ交付について		政策企画課、市民課
	47	デマンド交通「ひまわりタクシー」	デマンド交通「ひまわりタクシー」の利用方法や、高齢者等運転免許自主返納支援実証事業について ※利用登録申請および運転免許自主返納支援実証事業申請を受け付けます	政策企画課	60分
	48	いい那珂暮らし応援団	市民が参画したシティプロモーションを行う、「いい那珂暮らし応援団」の概要について		30分
	49	那珂市の統計※新規	統計データからみる那珂市の現状について		30分



環境はABC

—いまなぜ環境保護に取り組みねばならないのか—

◆気候変動

昨年は気象的に異例づくめで、特に7月は記録的な豪雨と猛暑となり、気象庁では異常気象と総括しました。こうした気候変動は、日本だけでなく世界規模で起きており、温暖化の影響が強く関わっていると思われます。

2018年12月、ポーランドでCOP24（国連気候変動枠組条約第24回締約国会議）が開かれましたが、アメリカのパリ協定離脱表明や、先進国と途上国の意見対立などがあったことから、IPCC（国連気候変動に関する政府間パネル）特別報告書は「2100年までに世界の平均気温の上昇を2℃未満に抑えるという目標達成は難しく、2030年までに1.5℃上昇する」と報じました。

また、世界気象機関（WMO）は、主要な温室効果ガスである二酸化炭素（CO₂）の世界の平均濃度が、2017年には405.5ppmに達し、過去最高を更新したと発表しました。（産業革命前の水準は約278ppm）

気候変動は、人類が直面する最大の脅威の1つであり、地球規模で実効性のある対策と行動が早急に望まれます。



◆3Rでゴミをつくらない

ごみの問題の目標は、3Rによる循環型社会の構築です。3R（リデュース=発生抑制、リユース=再使用、リサイクル=再資源化）は、いずれも「ゴミをつくらない」という取り組みで、リデュースやリユースはエネルギーを消費しないことから、ごみ問題を解決する根源的な取り組みといえます。

リサイクルと分別収集は一体のもので、那珂市では再資源化のため紙ごみの分別収集に取り組んでいますが、いまだに家庭ごみの中に40%以上の紙ごみが混在し、無駄に焼却されています。

また、地球規模で大きな問題となっているのが、プラスチックごみです。海洋汚染、特にマイクロプラスチック汚染は、海の生き物に対する影響だけでなく、私たちの健康にも深刻な影響を与えることが危惧されています。



◆つくる責任、つかう責任

現在、地球が直面している環境問題は、気候変動やごみのほかにも、生息地の消失、資源の過剰利用、大気や水の汚染などさまざまですが、これらは、企業の生産活動と私たちの消費行動が負荷の要因として根底にあります。

環境問題は、私たちが物質的に豊かで利便性の高い生活スタイルを求め、大量消費・大量廃棄を受け入れ、進めてきた結果により生じたものです。

環境問題の根源的な解決には、生産と消費を持続的なものにしていくしかありません。企業には「つくる責任」が、私たちには「つかう責任」が求められています。

それでは、だれに対して責任を果たす必要があるのでしょうか。そのためには「3つの公正」について理解を深め、心掛ける必要があります。



◆ 3つの公正

持続可能な社会を目指すそれぞれの立場と現場から、「立教大学ESD研究センター 次世代CSRにおけるサステナビリティ教育指針2011」では、持続可能な社会づくりのために、人材を育成する取り組みのうち「世代間の公正（未来・将来世代）」「世代内の公正（ひと・世界中の人々）」「種間の公正（自然・生態系）」を「3つの公正」としています。

1) 「世代間の公正（未来・将来世代）」

将来世代が、私たちと同等の環境を享受する権利があることを深く認識し、私たちの事業や暮らしが未来に与える影響を常に考え、行動にいかすこと。

2) 「世代内の公正（ひと・世界中の人々）」

私たちの事業や暮らしが、途上国をはじめ国内外の社会・経済的弱者と関係していることを認識し、できるだけ負担を押し付けないよう考え、実践に努めること。

3) 「種間の公正（自然・生態系）」

人間と自然、ヒトとヒト以外の生物との関係を根本的に問い直し、ヒトや社会の基盤である生態系からの発想を心掛けること。



◆ 持続可能な社会をめざして

環境保護は「つかう責任」を果たし、持続的な社会を構築するために必要です。環境保護行動は、人類が生き延びるために不可欠です。

そのために、まずは今の自分たちの暮らしや仕事と、将来世代、同世代の社会・経済的弱者、ヒト以外の生物との「つながり」を意識する必要があります。

しかし、いま国内外には、さまざまな問題を「他人のことはどうでも良い」とか「他人のせい」にしようとする風潮が出てきて「つながり」が希薄なものになりつつあります。

さらに、家族間や地域内のつながりも薄れつつあります。

このような状況を打開するため、持続可能な社会につながる価値観や問題解決型の思考力と行動力、そして社会的な問題を変えようとする意志をより強く持つことが求められています。

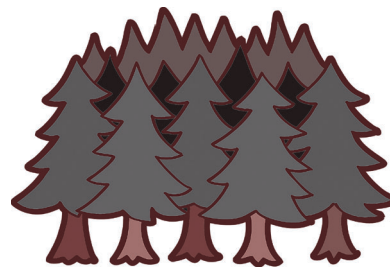


◆ 環境はABC

「環境はABC」とは、漫才家の林家カレー子さんの言葉です。

林家カレー子さんは、環境省の環境カウンセラーにも登録され、環境がテーマの漫才に取り組み26年、回数にして30回の環境寄席を全国で開くなどの活動をしています。

ABCは、A「あたりまえのことを」、B「バカにしないで」、C「ちゃんとやる」こと。皆さんも一緒に「ABC」で環境保護に取り組んでいきましょう。



執筆：環境省 環境カウンセラー 勝井明憲

✳️市立幼稚園の閉園式が行われました✳️

3月23・24日に、市内5つの幼稚園の閉園式が行われました。

たくさん子どもたちが巣立った5つの幼稚園は統合され、市立ひまわり幼稚園として新しい園舎で新たなスタートを切りました。園児たちは、今まで以上にたくさんお友達ができ、元気いっぱい楽しく過ごしています。



横堀幼稚園 47年間の歩み

昭和47年
那珂町立横堀幼稚園として開園
平成17年
那珂市立横堀幼稚園に改称
平成23年
東日本大震災により園舎被災のため、横堀小学校にて保育活動を行う
平成24年
仮園舎で保育活動を開始
平成28年
那珂市立額田幼稚園と統合
平成31年
横堀幼稚園閉園式典を挙行
3月31日 横堀幼稚園閉園
(卒園児数 1316人)
市立ひまわり幼稚園に統合



菅谷幼稚園 54年間の歩み

昭和40年
那珂町立第一幼稚園として那珂町立菅谷小学校跡に開園
昭和45年
旧菅谷中学校に改装移転
昭和48年
那珂町立菅谷幼稚園に改称
昭和51年
新園舎完成 現在地に移転
平成10年
園舎改築、新築木造園舎完成
平成17年
那珂市立菅谷幼稚園に改称
平成31年
菅谷幼稚園閉園式典を挙行
3月31日 菅谷幼稚園閉園
(卒園児数 4701人)
市立ひまわり幼稚園に統合



菅谷西幼稚園 40年間の歩み

昭和54年
那珂町立菅谷西幼稚園として開園
平成17年
那珂市立菅谷西幼稚園に改称
平成31年
菅谷西幼稚園閉園式典を挙行
3月31日 菅谷西幼稚園閉園
(卒園児数 1150人)
市立ひまわり幼稚園に統合



五台幼稚園 46年間の歩み

昭和48年
那珂町立五台幼稚園として開園
昭和49年
茨城国体集団演技参加
平成17年
那珂市立五台幼稚園に改称
平成23年
東日本大震災により園舎被災のため、五台小学校3教室にて保育活動を行う
平成24年
仮園舎で保育活動開始
平成31年
五台幼稚園閉園式典を挙行
3月31日 五台幼稚園閉園
(卒園児数 1419人)
市立ひまわり幼稚園に統合



芳野幼稚園 50年間の歩み

昭和44年
那珂町立第三幼稚園として開園
昭和48年
那珂町立芳野幼稚園に改称
昭和53年
新園舎 完成
平成17年
那珂市立芳野幼稚園に改称
平成22年
戸多幼稚園・木崎幼稚園と統合
平成23年
東日本大震災により園舎被災のため臨時休園
平成31年
芳野幼稚園閉園式典を挙行
3月31日 芳野幼稚園閉園
(卒園児数 1663人)
市立ひまわり幼稚園に統合

4月1日付

市職員の仕事異動

市職員の仕事異動（課長級以上）をお知らせします。

【企画部】

部長 大森信之
政策企画課 課長 益子学

【総務部】

部長 加藤裕一
収納課 課長 小林正博
税務課 参事兼課長 柴田秀隆

【市民生活部】

部長兼危機管理監 松山達男
防災課 課長 秋山光広
市民課 課長 片野弘道
環境課 課長 関雄二
課長 高島浩一
（大宮地方環境整備組合派遣）

【保健福祉部】

部長 川田俊昭
健康推進課 課長 加藤裕一
保険課 参事兼課長 先崎民夫

【建設部】

部長 中庭康史
土木課 副参事（併）土地開発公社事務局長 平野敏

【上下水道部】

部長 根本雅美
下水道課 課長 金野公則
水道課 課長 澤島克彦

【会計課】

会計管理者兼課長 清水貴

【議会事務局】

事務局次長 飛田良則

【農業委員会事務局】

副参事兼事務局次長補佐（総括） 綿引稔

【消防本部】

消防長 山田三雄
予防課 課長 元木利光
警防課 課長 小田部茂生
東消防署 副参事兼副署長 小蘭井司

【新規採用】

田村栄里／岩崎まりえ／米川敦也／和地真純／柏晶子／永井雄馬／大津真／赤津里奈／萩谷智司／片山太一／芹澤汰知／戸澤英理香／小林瑞歩／白瀬拓也／高野寛生

【任期付職員】

シティブロモーション推進室 室長 高島俊久

【退職者】（3月31日付）

小橋洋司（市民生活部長兼危機管理監）
関郁夫（市民生活部参事兼市民課長）
大竹将夫（市民生活部環境課長）
玉川秀利（建設部長）
平野正行（建設部土木課副参事（併）土地開発公社事務局次長）
関勝明（建設部土木課技査）
箕川覚（上下水道部参事兼水道課長）
小澤祐一（会計管理者兼会計課長）
川上義和（教育部生涯学習課副参事兼スポーツ推進室長）
飛田裕二（消防長）
宮田好男（消防本部警防課長）
片岡祐二（保健福祉部健康推進課長）
猿田若菜（保健福祉部健康推進課保健師）

問い合わせ

総務課職員グループ

☎298・1111（内線516）





市立図書館だより

☎352-1177



こども
図書館まつり
を開催します

参加費はすべて無料



4月27日(土)

- ◆菅☆まち☆テラス合同イベント
- 時間 午前10時～正午
- 場所 1階エントランスホール
- 内容 工作教室
- 主催 菅谷地区まちづくり委員会



4月28日(日)

- ◆一コマげきじょう
- 時間 午前10時～正午
- 場所 1階エントランスホール
- 対象 幼児～小学生
- 講師 小松崎浩司氏(茨城女子短期大学専任講師)

- ◆ワークショップ「空に“ふりかけ”をふらせてみよう！
～絵本作家石崎なおこと自由に絵を描いてみよう～



- 時間 午後1時30分～3時30分
(開場 午後1時)
- 場所 2階多目的室
- 講師 石崎なおこ氏(絵本作家)
- 定員 30組 ※先着順

※図書館で整理券を配付しています。

- ◆おはなしワンダーランド

- 時間 午後1時30分～2時15分
- 場所 2階多目的室
- 出演 児童サービスボランティア、ファニーず

- ◆朗読会

- 時間 午後2時45分～3時30分
- 場所 1階エントランスホール
- テーマ むかし話
- 出演 児童サービスボランティア



石崎なおこ氏(絵本作家) プロフィール

1986年茨城県生まれ。

北海道大学卒業後に出版社に勤務し、児童書の編集に携わる。その後、絵本の執筆をはじめ。著書に『いちごパフェエレベーター』『ハンバーガーバス』『ふりかけヘリコプター』(教育画劇)などがある。

◆新着本案内

【一般書】

- 『くらやみガールズトーク』 / 朱野帰子 著
- 『僕の母がルーズソックスを』 / 朝倉宏景 著
- 『てらこや青義堂 師匠、走る』 / 今村翔吾 著
- 『闇夜の底で踊れ』 / 増島拓哉 著
- 『陰陽師 女蛇ノ巻』 / 夢枕獏 著

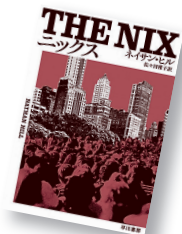
【児童書】

- 『道路はどのようにつくるのか？
計画・工事から改良・補修まで』 / 窪田陽一 監修
- 『悪ガキ7 7 よろずお悩み解決します』 / 宗田理 著
- 『しゅつどう！しょうぼうたい』 / 鎌田歩 作・絵
- 『もくもくをつかまえた』 / クリス・ディ・ジャコモ 絵 / ミカエル・エスコフィエ 文

※その他の新着本については、市立図書館ホームページをご覧ください。
<http://www01.ufinity.jp/nakalib/>

★『ニックス』 / ネイサン・ヒル 著 / 佐々田雅子 訳 早川書房

行方知れずになっていた母が、州知事を暴行して逮捕された。様々な憶測と報道がアメリカ全土をにぎわすなか、息子サミュエルは自分を捨てた母に復讐しようと、母の半生を調べはじめるが…。ユーモアと切なさに満ちた長篇。(ロサンゼルス・タイムズ文学賞(新人部門)) (出典：TRC MARC)



★『人見絹枝 日本人初の女性オリンピック選手』

／大野益弘 文 / しちみ楼 絵 小峰書店

90年前、日本人女性として初めてオリンピックに出場し、800メートル走で見事、銀メダルを獲得した人見絹枝。新しい時代を切り拓いた女性アスリートの生涯を描く。関係の深い人びと、年表なども収録。(出典：TRC MARC)



図書館カレンダー

5月

May

休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

映画会 11日 午後1時30分～

- おはなし会
- 16日 午前10時30分～
- 19日 午後2時～
- 午後3時～
- 24日 午後3時～

※休館中に本を返却する場合は、正面玄関左側の壁面にあるブックポストへ投函してください。ただし、CD/DVDは破損する恐れがあるため、開館後にカウンターで返却してください。

進学や就職などで引っ越したら 住民票を異動して、住所地で投票しましょう！

進学や就職などで引っ越しをされたかたは、原則、**現在住んでいる寮・アパートなどが住所地**になります。

住所の異動があるかたは、住民基本台帳法に基づき、転出・転入の手続きをする必要があります。

上下水道やごみ処理、道路・公園の整備などの役割は、住んでいる市区町村が担っており、住民票は、こうした行政サービスや**選挙人名簿への登録**などにつながる大切な情報ですので、忘れずに手続きをしましょう。



転出・転入の手続きは**簡単**です！！



転入届の際には、マイナンバーの「**通知カード**」や「**マイナンバーカード（個人番号カード）**」の記載事項の変更が必要ですので、これらのカードをお持ちください。

Q 引っ越したら、どこで投票できるの？

- A** 新住所地に引っ越してから3か月経過していれば、新住所地で投票できますが、住民票を移す必要があります。
※引っ越しをした場合、転入の日から14日以内に新住所地の市区町村に届出をする必要があります。



Q 引っ越して3か月経たずに選挙があるとき、投票できないの？

- A** 引っ越し前の住所（旧住所地）に3か月以上住んでいたのであれば、旧住所地で投票できます。
※これは国政選挙の場合です。都道府県の選挙においては当該都道府県の区域外に、市区町村の選挙においては当該市区町村の区域外に転出した場合は投票はできません。



Q 旧住所地に行けない場合はどうしたらいいの？

- A** 不在者投票制度を活用できます。



問い合わせ

市選挙管理委員会
☎298-1111
(内線514・515)



～那珂市特産品ブランド認証品～

七運カレーパン 大地の恵 カスタードクリームパン 菅谷三宿あんぱん

「七運カレーパン 大地の恵」は、幸運をもたらす「七運汁」の民話にちなみ、ニンジンなど7つの「ん（運）」の付く食材を使用したカレーパンです。那珂かぼちゃベースのマイルドなカレーを、玄米とプルーンを練り込んだ生地に包んで焼き上げ、トッピングにも旬の野菜を使用した具だくさんの一品です。

「カスタードクリームパン」には、市ブランド認証品の卵「ひまわりっこ」がふんだんに使用されています。店主の森島さんの修行先である、老舗ホテルのレシピをアレンジしたカスタードクリームは、昔ながらの直火炊きで、卵のおいしさを引き立たせています。

「菅谷三宿あんぱん」は、菅谷地区の上宿、中宿、下宿を、粒あん、こしあん、かぼちゃあんなどで表現しています。米粉入りの生地は歯切れが良く、「和菓子寄りのパン」と森島さんは言います。3個セットの箱詰めも可能で、手土産品としてもおすすめです。

「パン屋は、小麦をパンという形に加工してお客さまに届ける加工屋」という森島さん。地場産の農作物を取り入れ、この土地ならではの味が感じられるパン作りを心がけています。



七運カレーパン 大地の恵(奥) 200円(税込)
カスタードクリームパン(手前) 200円(税込)

パン工房 シャンテ

住所 菅谷 2565-4
電話 353-0858
営業時間 午前10時～午後7時
定休日 日曜日



菅谷三宿あんぱん 150円(税込)

みんなの健康

問い合わせ

健康推進課健康増進グループ

(総合保健福祉センター「ひだまり」内)

☎270-8071

健康な肝臓を守るために

「脂肪肝を予防しよう」

日本では、現在約3万人が肝臓がんで死亡しており、そのうち約8割は肝炎ウイルスが原因となつていますが、最近では「脂肪肝」が原因となることが増えてきています。

「脂肪肝」とは、肝臓に中性脂肪が多く貯まった状態のことをいいます。肝臓は、私たちの身体の右上腹部にあり、1〜1.5kgと体内最大の臓器といわれています。主な働きは、①身体の細胞を構成する栄養を合成する能力②解毒する能力③有名ですが、③貯蔵する能力(血管で余ったブドウ糖や中性脂肪などの脂質を貯蔵する)も備わっており「脂肪肝」はこの③の過ぎた状態によるものです。

「脂肪肝」には、「アルコール性の脂肪肝」と「非アルコール性の脂肪肝」があり、これまでは「アルコール性脂肪肝」のみが肝臓の重症化の観点で改善が必要といわれていましたが、メタボリックシンドロームを含む非アルコール性のタイプも、重症化するケースがあり、改善が重要だといわれています。

「脂肪肝」状態でも、初期に自覚症状はないため、年に1回の健康診査で肝機能状態を確認していく必要があります。血液検査としての肝機能検査があり、主にALT(GPT)、AST(GOT)、γ-GPTの3種類の検査でチェックすることが出来ます。肝細胞が「脂肪肝」などで働きが鈍ると、一部の肝細胞の負担が増し細胞が壊され、たくさん酵素を出し始めるため、これらの数値が上昇します。

健康な肝臓を守るために「健康診査」で自分の肝機能を把握しましょう。そして、日常生活(食事のリズムやバランス、運動など)を見直し、自ら健康な肝臓を守っていきましょう。

健康な肝臓を守るために「健康診査」で自分の肝機能を把握しましょう。そして、日常生活(食事のリズムやバランス、運動など)を見直し、自ら健康な肝臓を守っていきましょう。





平成31年度定住支援のご案内

いい那珂暮らしを始めよう!

申込み・問い合わせ

政策企画課地方創生グループ

☎298-1111 (内線437)

	子育て世帯住宅取得助成金	いい那珂暮らし結婚新生活支援補助金
補助金額	市内にお住いのかた………10万円 住宅を取得し市内に転入するかた………20万円	1世帯当たり……上限24万円 ※1000円未満切り捨て
対象世帯	次のいずれかの世帯 ○子育て世帯 (中学生以下の子どもと同居している世帯) ○新婚世帯 (婚姻後5年以内の夫婦で、夫婦のいずれかが40歳以下である世帯) ※平成28年7月1日以降に、対象住宅に係る金銭消費貸借契約(返済期間10年以上)を金融機関と締結していること。	次の要件をすべて満たす世帯 ○平成31年4月1日から平成32年3月31日までに婚姻届を提出した世帯 ○夫婦のいずれかが40歳以下で、結婚を機に市内の住宅に居住している世帯 ○夫婦の所得(申請時点の最新の所得証明の金額)が、合計340万円未満の世帯 ○ほかの公的家賃補助をうけていない世帯
対象住宅・費用	対象世帯が定住を目的として、新築または購入により、平成31年1月1日から平成32年3月31日までに本市に初めて取得した住宅 ※延べ床面積が50㎡以上、取得価格が500万円以上であること ※一時使用、営利目的、贈与、相続または2親等以内の親族から購入したものは助成対象外	平成31年1月1日から平成32年3月31日までの転入または転居にかかる以下の費用 ○新規の住宅賃貸費用(賃料、敷金、礼金、共益費、仲介手数料) ○新規の住宅取得費用 ○結婚に伴う引越し費用(引越業者や運送業者への支払い)
申請期間	平成31年12月31日までに住宅を取得したかた ⇒平成32年3月31日【窓口必着】 平成32年3月31日までに住宅を取得したかた ⇒平成32年6月30日【窓口必着】 ※現行の制度は、平成31年度中に住宅を取得されたかたまで終了	平成32年5月29日【窓口必着】

※対象者、対象経費などにはその他要件があります。詳しくは担当課までお問い合わせください。

那珂市の「うまい」を東京でPR

「いい那珂マルシェ in イバラキセンス」を開催

2月24日、銀座にある茨城県のアンテナショップ「イバラキセンス」で「いい那珂マルシェ」を開催しました。

当日は、幻の高級ほしいも「EPISODE XIII」、米ゲル生パスタ、乾燥トマトのオリーブオイル漬けなどの注目商品、ピクルスや那珂パイヤカレーなどの特産品ブランド認証品を販売したほか、先崎市長、フェルミエ那珂、那珂ふるさと大使らによる交流会を開催しました。

また、レストランでは、イベント当日から約1週間、那珂市の食材を使ったオリジナルメニューが提供されました。

問い合わせ

政策企画課地方創生グループ

☎298-1111(内線437)



▲つるしびななども展示



▲ラジオインタビュー



▲東京でも好評でした



▲交流会の様子

お住まいに 火災警報器はありますか？

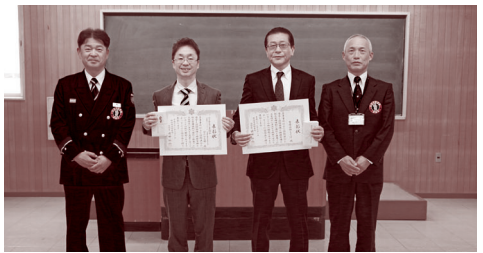
平成31年春季火災予防運動の一環として、婦人（女性）防火クラブ、消防団女性部にご協力いただき、市民の皆さんに住宅用火災警報器の設置などを呼びかけました。

火災警報器は、法令により住宅に設置することが義務付けられています。火災警報器の設置の有無によって、被害状況に大きな差があります。自分自身や家族の身の安全を守るためにも、住宅用火災警報器を設置しましょう。



今回の戸別訪問では、住宅用火災警報器の設置状況の調査を行い、条例に適合した箇所(市では「寝室」、寝室が2階にある場合は「寝室と階段」が設置義務となっています)に設置されているご家庭には「住宅用火災警報器設置済シール」を配布しました。このシールを玄関の見える位置に貼っていただくことで、悪質な住宅用火災警報器の訪問販売を防ぐ効果が期待でき、周辺地域の防火意識の向上にもつながります。

火災予防 優良事業所表彰



火災予防週間の初日となる3月1日、市消防本部で優良事業所表彰が行われ、有限会社えくぼ（後台）、社会福祉法人豊潤会 高齢者グループホーム・小規模多機能型居宅介護 ゆたかな郷（中里）が表彰されました。

この表彰は、消防用設備などの維持管理や防火管理を積極的に推進し、火災予防への取り組みが模範的である事業所をたたえるものです。

今回受賞された事業所のような取り組みが、今後さらに市内に広がることが期待されます。

【注意】

消防署や市役所の職員などが一般住宅を訪問し、消火器・住宅用火災警報器などを販売することは絶対にありません。これらの職員などを装った悪質な訪問販売などにはご注意ください。

情報メール一斉配信サービス(メールマガジン)に登録を

登録するとこんないいこと

■市から情報が届けられます

災害や火災が発生したときなどに、自ら情報を取得するために調べなくても、市から自動的に情報が届きます。

■選べる受信内容

登録時に受信したいと思う情報だけ選択すれば、それ以外の情報が届くことはありません。登録後に変更も可能なので、生活スタイルに合わせて受信内容を選べます。

- 災害、防災または緊急に関する情報
- 火災に関する情報
- 防犯または不審者に関する情報
- 健康に関する情報
- 子育てに関する情報
- 観光またはイベントに関する情報
- 生活または暮らしに関する情報
- 選挙に関する情報
- その他の情報

■どうやって登録するの？

ステップ 1 市ホームページのトップ画面にあるメールマガジンのバナーをクリック



ステップ 2 登録ページでメールアドレス、パスワードを入力し、希望する受信内容を選択したら登録をクリック



ステップ 3 受信した仮登録メールから本登録用のURLにアクセスすれば登録完了！

※携帯電話でメール拒否設定を行っている場合と受信できない場合があるため、設定の変更をお願いします。

問い合わせ シティプロモーション推進室 ☎298-1111 (内線425)



ヘルスマイトさんが作る健康料理 163

なんちゃって ステーキ

今月のヘルスマイトさん

那珂市食生活改善推進員
協議会

■コメント

袋の中でステーキ型に整えることがポイントです。簡単で柔らかに焼き上がります。

■材料（4人分）

豚肉薄切り…………… 400 g
ミニトマト…………… 4個
ブロッコリー…………… 1/2 個
サラダ菜…………… 適量
塩・こしょう…………… 少々
片栗粉…………… 小さじ1

A { みりん …… 大さじ4
しょうゆ …… 大さじ4
ケチャップ …… 小さじ4
粒マスタード …… 小さじ2

■作り方

- ①豚肉を袋に入れ、塩、こしょうをしてから片栗粉を混ぜ、袋の中でよくもむ。
- ②ステーキのように形を整えて、油を入れたフライパンで焼く。
- ③ブロッコリーは、小房に分けてゆでる。
- ④Aでたれを作り、焼けたステーキにかける。

■1人分（274kcal / 塩分2.2g）



マチイロ

マチを好きになるアプリ



▲ダウンロードはこちらから

広報紙をもっと身近なものとしていただくため、市ではスマートフォンやタブレット端末へアプリを利用して配信しています。いつでも、どこでも広報紙を読むことができ、ページめくりや記事の拡大縮小も簡単にできますので、ぜひご利用ください。

問い合わせ

シティプロモーション推進室
☎298-1111（内線425）

◆広報紙をアプリで読むには？

「マチイロ」をダウンロードします。

お住まいの地域で「茨城県那珂市」を登録し、簡単な設定をします。

最新の広報紙が配信されます。



◆アプリだと何が便利なの？

- 新しい広報紙が掲載されると端末に通知がくるので最新号を見逃しません。
- 広報紙をオフラインでも確認できるので、イベントなどの日時や申込先などを、いつでもスマートフォンなどで確認できます。
- ご自身が必要な部分を切り抜いて保存ができ、その画像を共有することもできます。（スクラップ&SNSでシェア）
- 興味のある分野を登録することで、自分に合わせた情報が届きます。

※アプリの利用は無料ですが、情報の受信には通信料がかかります。
※アプリ内の広告は那珂市とは関係ありません。アプリ運営のために表示されているものですので、ご了承ください。

◆「マチイロ」以外で広報紙を読むには？

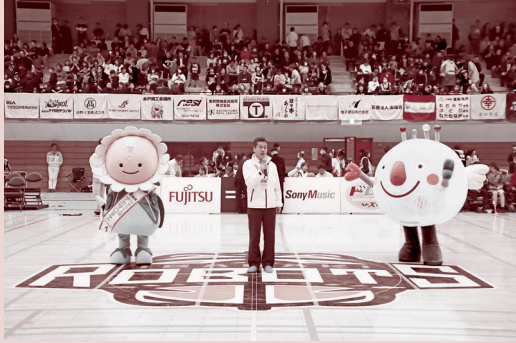
市ホームページまたは「ibaraki ebooks」でもご覧いただけます。

非常食のカレーを給食で食べました



東日本大震災の記憶を風化させることなく、子どもたちの防災意識の高揚を図るため、3月5・8日に市内小・中学校で、非常食の「救給カレー」を給食で提供しました。非常時を想定し、冷たい状態のカレーを食べた児童・生徒の皆さんは「やつぱり温かい方がいいね」「意外と食べられる!」と反応はさまざまでしたが、非常時への心構えや、普段温かい食事を食べられることへの感謝などを確認できたようです。

茨城ロボッツ「那珂市の日」



3月27日、水戸市青柳公園市民体育館において、サイバーデザイン茨城ロボッツのホームゲーム（vs青森ワッツ）が「那珂市の日」として開催されました。当日は市在任・在学のかた30組60人が抽選で招待され、60組120人が特別価格で観戦しました。ハーフタイムには、那珂よさこい連によるよさこいの演舞もあり、B1昇格を目指す茨城ロボッツの試合を大いに盛り上げました。

協働のまちづくり推進フォーラム



3月9日、総合センターらぽーるで「平成30年度那珂市協働のまちづくり推進フォーラム」を開催しました。市内の市民自治組織や市民活動団体による事例発表の後、常磐大学コミュニケーション学部長の池田幸也教授に「市民参加をすすめるために」と題してシンポジウム形式で講演いただき、参加者は、事例発表や池田教授の話聞きながら協働の重要性について理解を深めていきました。

健康づくり事業功労者表彰を受賞



2月19日、県民健康づくり功労者表彰を受賞した那珂医師会会長で市内整形外科医院院長の小野瀬好良先生（県知事賞）と元那珂市食生活改善推進員連絡協議会会長の間宮君枝さん（県保健福祉部長賞）が、表敬訪問されました。今回、長年にわたり地域のリーダーとして、介護予防活動や食生活改善などの活動の功績が高く評価され、県知事より感謝状を贈呈されました。



『るるぶ特別編集』

那珂』を発行

2月27日、那珂市・株式会社筑波銀行・株式会社JTBが協働で制作を進めてきた『るるぶ特別編集 那珂』の完成披露記者発表が行われました。女性が行きたくなるお店や、家族で楽しめる・ほっと一息つけるスポットなど那珂市の魅力が満載です。今後は、那珂市を市外のかたに知ってもらうため、イベントなどでお配りするほか、市外の一部観光施設に設置する予定です。



「新那珂八景」写生コンテスト

なかなか塾主催「新那珂八景」写生コンテストが行われ、45人が表彰されました。今年も力作ぞろいの那珂市の風景が描かれ、表現力豊かな作品には見入ってしまいました。主な入賞者は次のとおりです。(敬称略・当時在籍校)

- 【那珂市長賞】於曾能千翔(菅谷小6年生)
- 【那珂市教育長賞】大和田歩里(瓜連小6年生)
- 会沢月(木崎小6年生)
- 関根葵(菅谷小5年生)



いい那珂暮らし住まいづくりフェア

3月17日、市立図書館で、那珂市に住むことを検討していただくことを目的とした「いい那珂暮らし住まいづくりフェア」を開催しました。当日はファイナンシャルプランナーによるセミナー、市内協力企業による個別相談会、物件の現地見学ツアーなどを、市内外から22組45人のかたが参加しました。参加者は、気になる物件や返済計画、生活環境など、熱心に相談をされていました。



薬物乱用防止のために

3月6日、総合保健福祉センター「ひだまり」で「薬物乱用防止のための健康講座」を開催しました。講座では、講師に常陸大宮薬剤師会の薬剤師山口直氏を迎え「地域で薬物乱用を防ごう」を副題に、海外の薬物事情から身近な話まで、実例をあげながら、依存性がある薬とはどういうものか、薬の正しい使用の必要性などをお話しいただき、約50人の参加者は真剣に聞き入っていました。

善意銀行へ

ご協力ありがとうございます

2月15日～3月14日（敬称略）

切手テレカボランティアポピー
14,320円
野木利三郎 2,000円
匿名 10,846円
※善意銀行の寄付は、市社会福祉協議会でお受けしています。
☎ 229 - 0309

井戸水を飲用する皆さんへ

井戸水や湧水は、私たちの生活に欠かせないものであり、飲用井戸の衛生確保は、設置者自らに実施していただいています。

- 井戸やその周辺は、みだりに人や動物が入らないようにし、周囲の清潔保持に努めましょう。
- いつも水の色、濁りや味、においなどに注意しましょう。
- 定期的（年1回以上）に水質検査を受けましょう。

※水質検査は、井戸水を市で預かり、検査機関に対して依頼しています。また、厚生労働大臣および茨城県知事の登録を受けた検査機関でも受けることができます。（いずれも有料）
問い合わせ／環境課環境グループ
☎ 298 - 1111 内線 447 ~ 449

可燃ごみの出し方について

家庭から出される燃えるごみは、美観・清潔の維持および迅速な収集を行うために、1度に出せるごみの量を制限しています。

ごみ排出量の目安／指定袋5個まで
ごみ排出時間／

- 収集当日の朝8時まで
- ※指定袋には、必ず氏名をフルネームで記入してください。
- ※ごみ出しのルールが守られていないごみは収集できません。

問い合わせ／環境課環境グループ
☎ 298 - 1111 内線 447 ~ 449

★事件・事故の発生状況★

（平成31年2月末現在）

- 那珂市の交通事故

人身交通事故	27件
負傷者	33人
死者	0人

※暗くなる前から反射材を身に付けましょう！
- 那珂市の犯罪

刑法犯認知件数	77件
うち 住宅侵入窃盗	6件
自動車盗	2件
車上ねらい	26件

※防犯は 鍵かけ 声かけ 心がけ
問い合わせ／那珂警察署
☎ 352 - 0110

常陸農業協同組合が交通安全帽子を寄贈



3月12日、常陸農業協同組合から交通安全帽子430個を寄贈いただきました。

市では、この帽子を新入学児童全員に配布し、子どもたちの安全のために活用します。

有害ごみの出し方について

有害ごみの電池・電球・体温計（水銀入り）については、それぞれ回収業者が異なるため、別々に袋詰めして排出してください。

問い合わせ／環境課環境グループ
☎ 298 - 1111 内線 447 ~ 449



※人の動き※

那珂市の人口（3月1日現在）
※（ ）内は前月比

男	26,982人	(+ 10)
女	27,928人	(- 15)
計	54,910人	(- 5)
世帯数	22,680世帯	(+ 31)

○出生 34人
○死亡 55人
(2月1～29日)

※国保ミニ情報※

- 那珂市国保の加入者数 12,945人
(平成31年2月末現在・前月比66人減)
 - 那珂市国保が医療費の一部として支払った金額 2億7,666万円
(平成31年2月・前月比3,576万円減)
- ※皆さんの日ごろの健康づくり、病気予防の心がけが医療費の増加、ひいては国保税の増額を抑えることにつながります。ご協力をお願いします。

★今月の納税★

- 固定資産税・都市計画税 1期
- 介護保険料（普通徴収） 1期

納期限：5月7日

■市税の納付は口座振替で

市税の納付には、便利で確実な口座振替制度がありますので、どうぞご利用ください。詳細については、下記までお問い合わせください。

問い合わせ／収納課収納グループ
☎ 298 - 1111 内線 173・174

★火災・救急の状況★

（平成31年2月28日現在）

- 火災件数 4件（本年累計8件）
 - 救急出場件数 189件（本年累計432件）
- ※火災の起こりやすい気象状況となっているため、火の取扱いには十分注意してください。

問い合わせ／市消防本部
☎ 295 - 2111

- 市役所の電話番号
☎ 298 - 1111 (代表)
- ホームページ URL (携帯可)
http://www.city.naka.lg.jp
- メールアドレス
city-p@city.naka.lg.jp
- おしらせ版
市では「広報なか」のほかに「おしらせ版」(月2回)を発行しています。

那珂市民憲章

わたしたち那珂市民は、那珂・久慈の清らかな流れと豊かな緑に恵まれた郷土を愛し、市民としての誇りを持ち、明るく住みよいまちをめざします。

- 一 すこやかな心と体をつくりましょう
- 一 伝統を大切にし教養をふかめましょう
- 一 助け合い思いやる心を持ちましょう
- 一 きまりを守り安全を心がけましょう
- 一 自然を愛し資源をいかしましょう



5月の休日当番医

- 1日 小豆畑病院 (菅谷) ☎ 295 - 2611
- 2日 鈴木呼吸器科内科 (中台) ☎ 353 - 2811
- 3日 メディカルG Pクリニック横堀 (横堀) ☎ 298 - 3922
- 4日 岡田クリニック (後台) ☎ 270 - 8188
- 5日 あいざわ循環器内科クリニック (竹ノ内) ☎ 229 - 1230
- 6日 小豆畑病院 (菅谷) ☎ 295 - 2611
- 12日 西山堂慶和病院 (鴻巣) ☎ 295 - 5121
- 19日 那珂記念クリニック (中台) ☎ 353 - 2800
- 26日 なかむらクリニック (飯田) ☎ 353 - 2310

※診療時間は午前9時～11時30分です。
※受診の際、必ず当該医療機関へ電話でお問い合わせください。

◆急病などで、すぐに受診できる近くの医療機関を知りたいときは、茨城県救急医療情報コントロールセンター(☎ 241 - 4199)にお問い合わせください。

○受付日時 月～土曜日
午前9時～午後5時30分

※祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く

※上記機関の受付時間外(日曜日・祝日・年末年始を含む)は、次の機関で医療機関の案内や急な病気に関する相談を受け付けています。

○子どもの病気について
茨城子ども救急電話相談
(☎ # 8000) (☎ 03 - 5367 - 2367)

○大人の病気について
茨城おとな救急電話相談
(☎ # 7119) (☎ 03 - 5367 - 2365)

行政相談

日時/5月10日(金)
午後1時～4時
場所/市役所(本庁)1階ロビー
相談内容/国の行政機関などが行っている仕事についての苦情や意見・要望
相談員/行政相談委員
問い合わせ/市民相談室
☎ 298 - 1111 内線 117

法律相談

日時/5月14日(火)
午後1時～5時
5月28日(火)
午後1時～4時
場所/市役所(本庁)1階相談室
対象者/市内に住所を有するかた
相談員/弁護士
費用/無料(相談時間1回20分)
申込方法/電話または窓口で事前に予約してください。
※同じ事案について再度の相談はご遠慮ください。
申込み・問い合わせ/市民相談室
☎ 298 - 1111 内線 117

【お詫びと訂正】

広報なか3月号5ページ「行政コスト計算書」内表中の数値に間違いがありました。正しくは次のとおりです。お詫びして訂正します。

物にかかるコスト (誤) 63.0 億円
(正) 62.9 億円

人にかかるコスト (誤) 38.0 億円
(正) 37.4 億円

移転支的的なコスト (誤) 73.3 億円
(正) 74.0 億円

LINE@ はじめました

LINE@に那珂市役所公式アカウントが誕生しました。友達登録よろしくお願ひします!

登録方法 LINEアプリで「那珂市役所」を検索、または下記QRコードから登録してください。

問い合わせ/シティプロモーション推進室
☎ 298-1111 内線 425



那珂市内の放射線量の測定状況をお知らせします

市内の小・中学校、幼稚園、公共施設、保育所（園）などで放射線量を測定しています。また、市ホームページにも掲載しています。

○小・中学校、幼稚園

担当課および測定場所		測定値	測定日
学校教育課	横堀小学校	0.045	3月6日
	額田小学校	0.044	3月5日
	菅谷小学校	0.059	3月5日
	菅谷東小学校	0.061	3月8日
	菅谷西小学校	0.068	3月5日
	五台小学校	0.066	3月1日
	芳野小学校	0.046	3月5日
	木崎小学校	0.046	3月6日
	瓜連小学校	0.082	3月5日
	横堀幼稚園	0.050	3月7日
	菅谷幼稚園	0.053	3月5日
	菅谷西幼稚園	0.084	3月6日
	五台幼稚園	0.064	3月5日
	芳野幼稚園	0.048	3月5日
	那珂第一中学校	0.055	3月5日
	那珂第二中学校	0.053	3月5日
	那珂第三中学校	0.038	3月6日
	那珂第四中学校	0.040	3月5日
	瓜連中学校	0.065	3月5日
	茨城学園	0.057	3月6日
	ナザレ幼稚園	0.051	3月5日
	さいせい幼稚園	0.062	3月7日
	大成学園幼稚園	0.065	3月11日
旧本米崎小学校	0.083	3月8日	

○公共施設

担当課および測定場所		測定値	測定日
健康推進課	保健センター（ひだまり）	0.078	3月6日
生涯学習課	市中央公民館	0.074	3月1日
	市立図書館	0.089	3月1日
	那珂総合公園	0.085	3月2日
	歴史民俗資料館	0.081	3月3日
	ふれあいの杜公園	0.073	3月2日
市民協働課	ふれあいセンターよこぼり	0.066	3月12日
	ふれあいセンターごだい	0.079	3月12日
	ふれあいセンターよしの	0.078	3月13日
	総合センターらぼーる	0.116	3月12日
	戸多地区交流センター	0.055	3月13日
市民課	那珂聖苑	0.075	3月6日
都市計画課	中谷原公園	0.064	3月5日
	宮の池公園	0.070	3月8日
商工観光課	一の関ため池親水公園	0.049	3月8日
	静峰ふるさと公園	0.066	3月8日

○保育所（園）など

担当課および測定場所		測定値	測定日
こども課	菅谷保育所	0.067	3月5日
	瓜連保育園	0.071	3月4日
	ゆたか保育園	0.081	3月1日
	かしま台保育園	0.063	3月5日
	ごだい保育園	0.078	3月5日
	大成学園額田保育園	0.040	3月1日
	地域子育て支援センター	0.074	3月2日

○測定値の単位は、すべて、マイクロシーベルト／時間です。

○小・中学校、幼稚園、保育所（園）は地表面から50cmの高さでの測定値で、公共施設は地表面から1mの高さでの測定値です。

○測定結果は、すべて国の除染などの基準（0.23マイクロシーベルト／時間）を下回っています。

●水道水の環境放射能水準調査結果

2月15日から3月14日までの期間、市内各浄水場（後台、木崎、瓜連）および芳野配水場の水道水の放射性物質（放射性ヨウ素および放射性セシウム）の測定結果は、いずれも不検出となっています。

詳細は、市ホームページをご覧ください。

◆学校給食食材の放射性物質測定検査について

学校給食センターで調理されている給食食材は、毎日放射性物質の測定を行い、基準値を超えていない食材のみを使用しています。

【日常生活で少しでも放射線を少なくできる方法】

- 校庭・園庭などの屋外での活動後は、手や顔を洗い、うがいをする。
- 土や砂を口に入れないように注意し、口に入った場合は、うがいをする。
- 登校・登園時、帰宅時に靴の泥をできるだけ落とす。
- 土ほこりや砂ほこりが多いときは、窓を閉める。

☎ 那珂市役所
学校教育課
健康推進課
生涯学習課
市民協働課
都市計画課
商工観光課
こども課
水道課
那珂聖苑
学校給食センター

☎ 298 - 1111
内線 8274
内線 531
内線 8282
内線 265
内線 355
内線 243
内線 252
内線 8365
☎ 352 - 0073
☎ 298 - 1102



【川柳】2018 那珂市文化祭写真五七五
応募優秀作品(展示作品を見て1句)

「写真五七五」

ハワイまでもっと伸ばして潮見台
大海へ飛び込む蛙気合い入れ
あのはしへいつてみたいなあおいুকつ
人並みは果て無い海へ導かれ
潮見台こわくてとても潮見れぬ
潮見台家族みんなで楽しい日
猿公とおなじ気分で潮見台
大海を潮見台にて夢想う
ドローンもここまで覗く籠の中
蒼き海地震プレート動くなと
きれいだなはやくそこまで行きたいな
一万歩あと少しなの潮見台
大海に帰りたいよと泣く怪獣
下は海怖さにまさる好奇心

那珂川柳会選

富田道子
筒井かよ子
きむらあやみ(小一)
茂垣理佳
大内
遠藤実
小宅泉石
石田常枝
ナニ子
稲田淑子
佐藤のぞみ(小二)
宮田道子
松浦環
詠み人知らず

戸籍のまどでは、新生児と亡くなられたかたの氏名などを掲載していますが、不正使用や目的外使用防止の観点から、ホームページ上での掲載はいたしませんのでご了承ください。

【短歌】白鳥短歌会 加藤要選

薄紅の冬桜咲く千波湖に首を伸ばして白鳥の飛ぶ
つくばいの水を代えるや小鳥らの水浴びしたり冬の間も
君が来て部屋の温度が二度上がり我の心は二十度上がる
上野にて香^{シヤン}香見んと九十分並び背を見つ百二十秒
色づきて甘み・香りの日ごと増す妻と作りし干し柿七つ
無人駅へ通ずる道に赤々と行列なしてカンナ咲きたり
耳鼻科医は「大漁でした」ととりたての耳^{あか}垢をトレーに並べ笑まいぬ
儼しがる母の行李にねむりいし折染みついた白割烹着
耳朶寒き真夜を拍子木鳴らしつつ町内巡りし昭和はるけし

小野瀬 壽
海野 宏幸
水藤 和子
熊谷 富雄
仲沢 照美
大森 勝代
池田 美代子
菊池 和子
加藤 要



美山 力哉さん(23歳) 菅谷

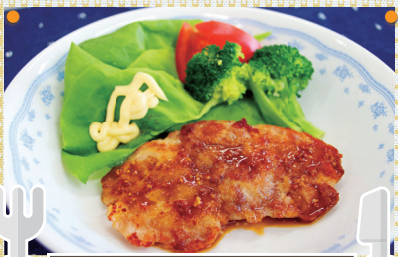
さわやかさん

162

厳しい訓練があるから得られるもの

私は現在、消防士として働いています。ずっとあこがれの職業でしたが、最大のきっかけは、東日本大震災発生時に活躍する消防士を見て、私も人のために働きたいと思ったことでした。消防士として歩み始めたときは喜びもありましたが、同時に、子どものころから見てきた「カッコいい姿」の裏にある訓練の厳しさに驚きました。日ごろ訓練していても、現場は一発勝負。過酷な環境では訓練どおりにいかないことも多く大変です。それでも、救助

したかたから感謝の手紙をもらったときは大きなやりがいを感じました。そしていまは、夏に開催される救助大会に向け、チームメイトと助け合いながら訓練に励んでいます。私自身は今年で3回目の出場ですが、一昨年の大会では最後にミスをしてしまい、悔しい思いをしました。今年はその悔しさをバネにし、関東大会、全国大会の出場を目指しています。そして、この経験をいかして多くの人を救助できるようになりたいです。



なんちゃってステーキ

ヘルズサイトさんが作る健康料理

※レシピは27ページに掲載

Happy Birthday!!

1歳おめでとう♡
これからたくさん遊ぼうね!!

2/6 生まれ

りょうま 稜真くん
父・卓也さん 母・ひとみさん(菅谷)

1歳おめでとう!
元気に大きく育てね。

2/14 生まれ

ひなの 陽菜乃ちゃん
父・祐司さん 母・浩子さん(菅谷)

1歳おめでとう。
いっぱいご飯食べて元気に育てね!

2/28 生まれ

かいせい 凱聖くん
父・孝之さん 母・みつ子さん(飯田)

ご家族からのメッセージ

【12か月健診時に掲載者の抽選を行っています】

裂紙の裏側

4月から市内5つの幼稚園が統合され、市立ひまわり幼稚園が新たなスタートをきるにあたり、3月23・24日に各幼稚園で閉園式が行われました。

閉園式では、園児たちの歌の発表や記念品の授与などが行われ、長年親しまれ、たくさんの園児の成長を見守り続け、たくさんの思い出を作ってくれた園舎にお別れをしました。